

科目名	KEY実習		担当講師	松並 姿帆	
講師実務経験	ピアニスト				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	鍵盤における基礎練習と基本的な音階を修得する。				
6期	ピアノ曲を用いて鍵盤技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス・ハノンを用いた基礎練習			
2	4月20日	ハノン・スケール(嬰種)			
3	5月11日	ハノン・スケール(変種)			
4	5月18日	ハノン・全調カデンツ			
5	6月22日	ハノン・Happy Birth Day To You(Mildred J.Hill)①			
6	6月29日	ハノン・Happy Birth Day To You(Mildred J.Hill)②			
7	7月6日	ハノン・Happy Birth Day To You(Mildred J.Hill)③			
8	7月13日	ハノン・メヌエット(J.S.Bach)①			
9	8月17日	ハノン・メヌエット(J.S.Bach)②			
10	8月24日	ハノン・メヌエット(J.S.Bach)③			
11	8月31日	実技試験①			
12	9月7日	実技試験②			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	聴音		担当講師	松並 姿帆	
講師実務経験	ピアニスト				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	複雑なリズムの聞き取りを修得する。				
6期	音程を理解し、聞き取ることを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス			
2	4月20日	基本的な音符のリズム(2分音符・4分音符・8分音符・16分音符)			
3	5月11日	様々な連符のリズム(3連符・5連符・6連符)			
4	5月18日	様々な拍子のリズム(2拍子・3拍子・6拍子・8拍子)			
5	6月22日	様々な記号のリズム(タイ・符点)			
6	6月29日	リズム聴音まとめ・小テスト			
7	7月6日	全調スケール			
8	7月13日	全音符での音程聞き取り			
9	8月17日	簡単な旋律聴音①(単音)			
10	8月24日	簡単な旋律聴音②(4小節の聞き取り全音符)			
11	8月31日	簡単な旋律聴音③(4小節の聞き取り全音符)			
12	9月7日	試験対策			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	五線譜用意				
注意事項	12時間中4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作詞Ⅲ		担当講師	吉田 佳代	
講師実務経験	シンガーソングライター・作詞講師・ボイストレーナー				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	仕事の依頼を受けたと想定し企画に合わせた作品を完成させる。				
6期	プロフェッショナルな作詞をし、完成させた作品を推敲しチェックするスキルを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	企画に合わせた作品を作る 10代の男性・女性アーティスト向け			
2	4月20日	企画に合わせた作品を作る 10代の男性・女性アーティスト向け			
3	5月11日	企画に合わせた作品を作る 男性ユニット 飲料のCMタイアップ			
4	5月18日	企画に合わせた作品を作る 男性ユニット 飲料のCMタイアップ			
5	6月22日	企画に合わせた作品を作る 30代アーティスト ホームドラマタイアップ			
6	6月29日	企画に合わせた作品を作る 31代アーティスト ホームドラマタイアップ			
7	7月6日	企画に合わせた作品を作る 20代 ヒューマンドラマ・映画			
8	7月13日	企画に合わせた作品を作る 20代 ヒューマンドラマ・映画			
9	8月17日	企画に合わせた作品を作る 年代自由 オリピックタイアップ			
10	8月24日	企画に合わせた作品を作る 年代自由 オリピックタイアップ			
11	8月31日	企画に合わせた作品を作る 自分が歌う デビュー作品として			
12	9月7日	企画に合わせた作品を作る 自分が歌う デビュー作品として			
評価方法	実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	アンサンブル実習Ⅲ		担当講師	曾山、田森(仁)、木村、田森(正)、水口、松並	
講師実務経験	プロミュージシャン				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	405 分
期	修 得 目 標				
5期	ライブイベントに向けた楽曲制作と、譜面、セッティング図等の資料完成。				
6期	より魅力的な楽曲作りと、より魅力的な表現。アンサンブルスキルの向上。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日 4月16日 4月17日	新入生歓迎ライブに向けた状況確認			
2	4月20日 4月23日 4月24日	新入生歓迎ライブの最終チェック			
3	5月8日 5月11日 5月14日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
4	5月15日 5月18日 5月21日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
5	5月22日 6月18日 6月19日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
6	6月22日 6月25日 6月26日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
7	6月29日 7月2日 7月3日	新曲の作成			
8	7月6日 7月9日 7月10日	新曲の作成			
9	7月13日 8月17日 8月20日	新曲の作成			
10	8月21日 8月24日 8月27日	新規楽曲でのバンドアンサンブル			
11	8月28日 8月31日 9月3日	新規楽曲でのバンドアンサンブル			
12	9月4日 9月7日 9月10日	新規楽曲でのバンドアンサンブル			
評価方法	実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	108時間中37時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ヴォーカル実習Ⅲ		担当講師	田森 仁子	
講師実務経験	ヴォーカルトレーナー				
対象学年	2 学年	対象専攻	ヴォーカル専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	トータルトレーニングを基礎に、ステージングを含むオリジナル曲の充実				
6期	ヴォーカルテクニックの強化と共に様々なリズムスタイルの楽曲を歌う				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	基礎知識確認			
2	4月15日	2度～3度のトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
3	4月21日	3度～4度のトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
4	4月22日	4度～5度のトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
5	5月12日	5度オルタードのトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
6	5月13日	5度オルタードとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
7	5月19日	6度オルタードとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
8	5月20日	6度のトータルトレーニングとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
9	6月23日	6度のトータルトレーニングとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
10	6月24日	6度のトータルトレーニングとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
11	6月30日	6度オルタードとリズムスタイル・オリジナル曲メイク			
12	7月1日	6度オルタードとリズムスタイル・オリジナル曲メイク			
13	7月7日	6度オルタードとリズムスタイル・オリジナル曲メイク			
14	7月8日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
15	7月14日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
16	8月18日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
17	8月19日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
18	8月25日	7度オルタードとリズムアンサンブル			
19	8月26日	7度オルタードとリズムアンサンブル			
20	9月2日	7度オルタードとリズムアンサンブル			
21	9月3日	オクターブのトータルトレーニング・ヴォーカルテクニック			
22	9月8日	オクターブのトータルトレーニング・ヴォーカルテクニック			
23	9月9日	オクターブのトータルトレーニング・ヴォーカルテクニック			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ギター実習Ⅲ		担当講師	曾山 良一	
講師実務経験	プリギタリスト・作曲家				
対象学年	2 学年	対象専攻	ギター専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	ギター特融のコードプレイ完全理解・実践				
6期	カッティング・アルペジオ				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	AG・EGメカニカルトレーニング/現時点での各自コード理解チェック			
2	4月15日	AG・EGメカニカルトレーニング/openコードからの応用<EX資料>			
3	4月21日	AG・EGメカニカルトレーニング/同一コードの指板展開<EX資料>			
4	4月22日	AG・EGメカニカルトレーニング/テンションコード・不協和音コード			
5	5月12日	AG・EGメカニカルトレーニング/カポタストによるコード完全理解			
6	5月13日	AG・EGメカニカルトレーニング/カポタストによるEX初見練習			
7	5月19日	AG・EGメカニカルトレーニング/与えられたコードによるカッティング<EX資料>			
8	5月20日	AG・EGメカニカルトレーニング/与えられたコードによるカッティング・アルペジオ<EX>			
9	6月23日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードバック①			
10	6月24日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードバック②			
11	6月30日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードバック③			
12	7月1日	AG・EGメカニカルトレーニング/同一コード進行に於ける指板移動展開			
13	7月7日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードオブリガードについて			
14	7月8日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードコンビネーションプレイについて			
15	7月14日	AG・EGメカニカルトレーニング/コードプレイからみるソロワーク考			
16	8月18日	AG・EGメカニカルトレーニング			
17	8月19日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料による初見コードプレイ			
18	8月25日	AG・EGメカニカルトレーニング/コードプレイに於けるトーンセレクト考			
19	8月26日	AG・EGメカニカルトレーニング/フィンガーピッキングによるコードプレイスタイル			
20	9月2日	AG・EGメカニカルトレーニング/フィンガーピッキングアルペジオ奏法			
21	9月3日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるラグタイム奏法			
22	9月8日	AG・EGメカニカルトレーニング/エフェクトによるコードプレイ考			
23	9月9日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードプレイまとめ			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ベース実習Ⅲ		担当講師	木村 圭子	
講師実務経験	プロベージスト・音楽スクール講師				
対象学年	2 学年	対象専攻	ベース専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	基礎を強化し、アーティキュレーションに関わるテクニックを体得する				
6期	様々な音楽のグルーヴを感じ、理解し、プレイできるようにする				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	現状の把握と1年次の確認			
2	4月15日	フィンガーピッキング I フォームについて レイキングとオルタネイト ミュートについて			
3	4月21日	フィンガーピッキング II バリエーションとダイナミクスのコントロールについて			
4	4月22日	ピック奏法 I ピッキングフォームとアングルについて			
5	5月12日	ピック奏法 II ダウンピッキングとオルタネイトピッキング			
6	5月13日	アーティキュレーション I スタッカート&レガート 音価について			
7	5月19日	アーティキュレーション II ハンマリング & プリング			
8	5月20日	アーティキュレーション III スライド & グリッサンド			
9	6月23日	アーティキュレーション IV ヴィブラート & ベンディング			
10	6月24日	アーティキュレーション V I ~ IV を応用しラインメイク			
11	6月30日	Slap奏法 I 基本フォームについて LHM サムピング & プルトレーニング			
12	7月1日	Slap奏法 II サムピング & プルのコンビネーション			
13	7月7日	フィールについて 8feel・16feel・バウンスfeelトレーニング			
14	7月8日	課題曲 Rock I Finger/Pick 8feel			
15	7月14日	課題曲 Rock II Finger/Pick shuffle			
16	8月18日	課題曲 Pops I Finger/Slap・16feel ゴーストノートについて			
17	8月19日	課題曲 Pops II Finger・バラード			
18	8月25日	課題曲 Soul Finger・16feel モータウングルーヴ			
19	8月26日	課題曲 Blues Finger/Pick バウンスfeel			
20	9月2日	課題曲 Funk I Slap・16feel サムアップ・ダウントレーニング			
21	9月3日	課題曲 Funk II Slap・16feel ロータリー奏法トレーニング			
22	9月8日	メンテナンスについて			
23	9月9日	実技修得度試験			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	読譜・リズムトレーニング・フィンガリングトレーニングは毎レッスン実施				
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ドラム実習Ⅲ		担当講師	田森 正行	
講師実務経験	音楽家				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	スティックコントロールやフットワークなどの基礎練習を目的意識を持ちながら行う。				
6期	グルーブの違いを感じながら様々なジャンルのリズムを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	アクセントやチェンジアップなどの復習(16分系)			
2	4月15日	アクセントやチェンジアップなどの復習(3連符系)			
3	4月21日	シングルストロークとダブルストロークの移行をしながらチェンジアップ			
4	4月22日	5ストロークロールや7ストロークロールの練習(16分系)			
5	5月12日	5ストロークロールや7ストロークロールの練習(3連符系)			
6	5月13日	フラムを使ったフィルイン練習(16分系)			
7	5月19日	フラムを使ったフィルイン練習(3連符系)			
8	5月20日	ラフを使ったフィルイン練習(16分系)			
9	6月23日	ラフを使ったフィルイン練習(3連符系)			
10	6月24日	パラディドルを使ったフィルイン練習(16分系)			
11	6月30日	パラディドルを使ったフィルイン練習(3連符系)			
12	7月1日	ダブルのフットワークの強化(16分系)			
13	7月7日	ダブルのフットワークの強化(3連符系)			
14	7月8日	コーディネーションを使ったフィルイン練習(16分系)			
15	7月14日	コーディネーションを使ったフィルイン練習(3連符系)			
16	8月18日	ソウル、R&Bなどグルーブの習得①			
17	8月19日	ソウル、R&Bなどグルーブの習得②			
18	8月25日	ブルースなどのシャッフルの習得			
19	8月26日	2拍3連を使ったシャッフルの習得			
20	9月2日	ゴーストノートの習得			
21	9月3日	ボサノバ、サンバなどのブラジル音楽を習得			
22	9月8日	サンバリズムの強化			
23	9月9日	チャチャやソンなどのキューバ音楽の習得			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	DTMⅢ				担当講師	谷津 祐子	
講師実務経験	大学非常勤講師						
対象学年	2	学年	対象専攻	ミュージシャンコース各専攻		授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
5期	1年次に習得した基礎操作を使って、簡単なテーマに沿った作曲・編曲ができる						
6期	応用的な操作を習得し、テーマや決められた枠に沿った作曲・編曲ができる						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月14日	授業ガイダンス					
2	4月21日	曲を構成する要素と効果について					
3	5月12日	テーマに沿った制作1-1					
4	5月19日	テーマに沿った制作1-2					
5	6月23日	テーマに沿った制作2-1					
6	6月30日	テーマに沿った制作2-2					
7	7月7日	テーマに沿った制作3-1					
8	7月14日	テーマに沿った制作3-2					
9	8月18日	テーマに沿った制作3-3					
10	8月25日	テーマに沿った制作4-1					
11	9月1日	テーマに沿った制作4-2					
12	9月8日	テーマに沿った制作4-3					
評価方法	実技習得度(100%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	リズムⅡ		担当講師	神田 直樹	
講師実務経験	音楽教室、通信制高等学校勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
5期	音符によるリズムの理解を習得。				
6期	ジャンルごとによるリズムを習得				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス・音符のリーディング・ヒアリング			
2	4月20日	3連系の種類について			
3	5月11日	連符の種類について			
4	5月18日	リズム符の確認テスト			
5	6月22日	平坦にならないグルーブについて			
6	6月29日	8グルーブについて			
7	7月6日	16グルーブについて			
8	7月13日	トリプレットについて			
9	8月17日	シャッフルについて			
10	8月24日	バウンスするリズムについて			
11	8月31日	筆記試験対策授業			
12	9月7日	実技試験			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽理論 I		担当講師	谷津 祐子			
講師実務経験	大学非常勤講師						
対象学年	2	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	講義
期間	5期・6期	総授業回数	12	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
5期	1年次の学習内容である基礎知識を発展させ、読譜・記譜の応用力を高める						
6期	楽曲分析やアレンジを通じて作曲・編曲の実践力と高める						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月16日	授業ガイダンス					
2	4月23日	リズムアレンジ基礎					
3	5月14日	リズムアレンジ応用					
4	5月21日	単旋律アレンジ基礎					
5	5月18日	単旋律アレンジ応用					
6	5月25日	複旋律アレンジ基礎					
7	7月2日	複旋律アレンジ応用					
8	7月9日	楽曲分析 1					
9	8月20日	楽曲分析 2					
10	8月27日	総合的なアレンジ 1					
11	9月3日	総合的なアレンジ 2					
12	9月10日	総合的なアレンジ 3					
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	KEY実習		担当講師	松並 姿帆	
講師実務経験	ピアニスト				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	鍵盤における基礎練習と基本的な音階を修得する。				
6期	ピアノ曲を用いて鍵盤技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス・ハノンを用いた基礎練習			
2	4月20日	ハノン・スケール(嬰種)			
3	5月11日	ハノン・スケール(変種)			
4	5月18日	ハノン・全調カデンツ			
5	6月22日	ハノン・Happy Birth Day To You(Mildred J.Hill)①			
6	6月29日	ハノン・Happy Birth Day To You(Mildred J.Hill)②			
7	7月6日	ハノン・Happy Birth Day To You(Mildred J.Hill)③			
8	7月13日	ハノン・メヌエット(J.S.Bach)①			
9	8月17日	ハノン・メヌエット(J.S.Bach)②			
10	8月24日	ハノン・メヌエット(J.S.Bach)③			
11	8月31日	実技試験①			
12	9月7日	実技試験②			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	聴音		担当講師	松並 姿帆	
講師実務経験	ピアニスト				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	複雑なリズムの聞き取りを修得する。				
6期	音程を理解し、聞き取ることを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス			
2	4月20日	基本的な音符のリズム(2分音符・4分音符・8分音符・16分音符)			
3	5月11日	様々な連符のリズム(3連符・5連符・6連符)			
4	5月18日	様々な拍子のリズム(2拍子・3拍子・6拍子・8拍子)			
5	6月22日	様々な記号のリズム(タイ・符点)			
6	6月29日	リズム聴音まとめ・小テスト			
7	7月6日	全調スケール			
8	7月13日	全音符での音程聞き取り			
9	8月17日	簡単な旋律聴音①(単音)			
10	8月24日	簡単な旋律聴音②(4小節の聞き取り全音符)			
11	8月31日	簡単な旋律聴音③(4小節の聞き取り全音符)			
12	9月7日	試験対策			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	五線譜用意				
注意事項	12時間中4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作詞Ⅲ		担当講師	吉田 佳代	
講師実務経験	シンガーソングライター・作詞講師・ボイストレーナー				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	仕事の依頼を受けたと想定し企画に合わせた作品を完成させる。				
6期	プロフェッショナルな作詞をし、完成させた作品を推敲しチェックするスキルを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	企画に合わせた作品を作る 10代の男性・女性アーティスト向け			
2	4月20日	企画に合わせた作品を作る 10代の男性・女性アーティスト向け			
3	5月11日	企画に合わせた作品を作る 男性ユニット 飲料のCMタイアップ			
4	5月18日	企画に合わせた作品を作る 男性ユニット 飲料のCMタイアップ			
5	6月22日	企画に合わせた作品を作る 30代アーティスト ホームドラマタイアップ			
6	6月29日	企画に合わせた作品を作る 31代アーティスト ホームドラマタイアップ			
7	7月6日	企画に合わせた作品を作る 20代 ヒューマンドラマ・映画			
8	7月13日	企画に合わせた作品を作る 20代 ヒューマンドラマ・映画			
9	8月17日	企画に合わせた作品を作る 年代自由 オリピックタイアップ			
10	8月24日	企画に合わせた作品を作る 年代自由 オリピックタイアップ			
11	8月31日	企画に合わせた作品を作る 自分が歌う デビュー作品として			
12	9月7日	企画に合わせた作品を作る 自分が歌う デビュー作品として			
評価方法	実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	アンサンブル実習Ⅲ		担当講師	曾山、田森(仁)、木村、田森(正)、水口、松並	
講師実務経験	プロミュージシャン				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	405 分
期	修 得 目 標				
5期	ライブイベントに向けた楽曲制作と、譜面、セッティング図等の資料完成。				
6期	より魅力的な楽曲作りと、より魅力的な表現。アンサンブルスキルの向上。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日 4月16日 4月17日	新入生歓迎ライブに向けた状況確認			
2	4月20日 4月23日 4月24日	新入生歓迎ライブの最終チェック			
3	5月8日 5月11日 5月14日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
4	5月15日 5月18日 5月21日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
5	5月22日 6月18日 6月19日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
6	6月22日 6月25日 6月26日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
7	6月29日 7月2日 7月3日	新曲の作成			
8	7月6日 7月9日 7月10日	新曲の作成			
9	7月13日 8月17日 8月20日	新曲の作成			
10	8月21日 8月24日 8月27日	新規楽曲でのバンドアンサンブル			
11	8月28日 8月31日 9月3日	新規楽曲でのバンドアンサンブル			
12	9月4日 9月7日 9月10日	新規楽曲でのバンドアンサンブル			
評価方法	実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	108時間中37時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ヴォーカル実習Ⅲ		担当講師	田森 仁子	
講師実務経験	ヴォーカルトレーナー				
対象学年	2 学年	対象専攻	ヴォーカル専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	トータルトレーニングを基礎に、ステージングを含むオリジナル曲の充実				
6期	ヴォーカルテクニックの強化と共に様々なリズムスタイルの楽曲を歌う				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	基礎知識確認			
2	4月15日	2度～3度のトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
3	4月21日	3度～4度のトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
4	4月22日	4度～5度のトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
5	5月12日	5度オルタードのトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
6	5月13日	5度オルタードとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
7	5月19日	6度オルタードとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
8	5月20日	6度のトータルトレーニングとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
9	6月23日	6度のトータルトレーニングとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
10	6月24日	6度のトータルトレーニングとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
11	6月30日	6度オルタードとリズムスタイル・オリジナル曲メイク			
12	7月1日	6度オルタードとリズムスタイル・オリジナル曲メイク			
13	7月7日	6度オルタードとリズムスタイル・オリジナル曲メイク			
14	7月8日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
15	7月14日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
16	8月18日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
17	8月19日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
18	8月25日	7度オルタードとリズムアンサンブル			
19	8月26日	7度オルタードとリズムアンサンブル			
20	9月2日	7度オルタードとリズムアンサンブル			
21	9月3日	オクターブのトータルトレーニング・ヴォーカルテクニック			
22	9月8日	オクターブのトータルトレーニング・ヴォーカルテクニック			
23	9月9日	オクターブのトータルトレーニング・ヴォーカルテクニック			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ギター実習Ⅲ		担当講師	曾山 良一	
講師実務経験	プリギタリスト・作曲家				
対象学年	2 学年	対象専攻	ギター専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	ギター特融のコードプレイ完全理解・実践				
6期	カッティング・アルペジオ				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	AG・EGメカニカルトレーニング/現時点での各自コード理解チェック			
2	4月15日	AG・EGメカニカルトレーニング/openコードからの応用<EX資料>			
3	4月21日	AG・EGメカニカルトレーニング/同一コードの指板展開<EX資料>			
4	4月22日	AG・EGメカニカルトレーニング/テンションコード・不協和音コード			
5	5月12日	AG・EGメカニカルトレーニング/カポタストによるコード完全理解			
6	5月13日	AG・EGメカニカルトレーニング/カポタストによるEX初見練習			
7	5月19日	AG・EGメカニカルトレーニング/与えられたコードによるカッティング<EX資料>			
8	5月20日	AG・EGメカニカルトレーニング/与えられたコードによるカッティング・アルペジオ<EX>			
9	6月23日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードバック①			
10	6月24日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードバック②			
11	6月30日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードバック③			
12	7月1日	AG・EGメカニカルトレーニング/同一コード進行に於ける指板移動展開			
13	7月7日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードオブリガードについて			
14	7月8日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードコンビネーションプレイについて			
15	7月14日	AG・EGメカニカルトレーニング/コードプレイからみるソロワーク考			
16	8月18日	AG・EGメカニカルトレーニング			
17	8月19日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料による初見コードプレイ			
18	8月25日	AG・EGメカニカルトレーニング/コードプレイに於けるトーンセレクト考			
19	8月26日	AG・EGメカニカルトレーニング/フィンガーピッキングによるコードプレイスタイル			
20	9月2日	AG・EGメカニカルトレーニング/フィンガーピッキングアルペジオ奏法			
21	9月3日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるラグタイム奏法			
22	9月8日	AG・EGメカニカルトレーニング/エフェクトによるコードプレイ考			
23	9月9日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードプレイまとめ			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ベース実習Ⅲ		担当講師	木村 圭子	
講師実務経験	プロベージスト・音楽スクール講師				
対象学年	2 学年	対象専攻	ベース専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	基礎を強化し、アーティキュレーションに関わるテクニックを体得する				
6期	様々な音楽のグルーヴを感じ、理解し、プレイできるようにする				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	現状の把握と1年次の確認			
2	4月15日	フィンガーピッキング I フォームについて レイキングとオルタネイト ミュートについて			
3	4月21日	フィンガーピッキング II バリエーションとダイナミクスのコントロールについて			
4	4月22日	ピック奏法 I ピッキングフォームとアングルについて			
5	5月12日	ピック奏法 II ダウンピッキングとオルタネイトピッキング			
6	5月13日	アーティキュレーション I スタッカート&レガート 音価について			
7	5月19日	アーティキュレーション II ハンマリング & プリング			
8	5月20日	アーティキュレーション III スライド & グリッサンド			
9	6月23日	アーティキュレーション IV ヴィブラート & ベンディング			
10	6月24日	アーティキュレーション V I ~ IV を応用しラインメイク			
11	6月30日	Slap奏法 I 基本フォームについて LHM サムピング & プルトレーニング			
12	7月1日	Slap奏法 II サムピング & プルのコンビネーション			
13	7月7日	フィールについて 8feel・16feel・バウンスfeelトレーニング			
14	7月8日	課題曲 Rock I Finger/Pick 8feel			
15	7月14日	課題曲 Rock II Finger/Pick shuffle			
16	8月18日	課題曲 Pops I Finger/Slap・16feel ゴーストノートについて			
17	8月19日	課題曲 Pops II Finger・バラード			
18	8月25日	課題曲 Soul Finger・16feel モータウングルーヴ			
19	8月26日	課題曲 Blues Finger/Pick バウンスfeel			
20	9月2日	課題曲 Funk I Slap・16feel サムアップ・ダウントレーニング			
21	9月3日	課題曲 Funk II Slap・16feel ロータリー奏法トレーニング			
22	9月8日	メンテナンスについて			
23	9月9日	実技修得度試験			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	読譜・リズムトレーニング・フィンガリングトレーニングは毎レッスン実施				
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ドラム実習Ⅲ		担当講師	田森 正行	
講師実務経験	音楽家				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	スティックコントロールやフットワークなどの基礎練習を目的意識を持ちながら行う。				
6期	グルーブの違いを感じながら様々なジャンルのリズムを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	アクセントやチェンジアップなどの復習(16分系)			
2	4月15日	アクセントやチェンジアップなどの復習(3連符系)			
3	4月21日	シングルストロークとダブルストロークの移行をしながらチェンジアップ			
4	4月22日	5ストロークロールや7ストロークロールの練習(16分系)			
5	5月12日	5ストロークロールや7ストロークロールの練習(3連符系)			
6	5月13日	フラムを使ったフィルイン練習(16分系)			
7	5月19日	フラムを使ったフィルイン練習(3連符系)			
8	5月20日	ラフを使ったフィルイン練習(16分系)			
9	6月23日	ラフを使ったフィルイン練習(3連符系)			
10	6月24日	パラディドルを使ったフィルイン練習(16分系)			
11	6月30日	パラディドルを使ったフィルイン練習(3連符系)			
12	7月1日	ダブルのフットワークの強化(16分系)			
13	7月7日	ダブルのフットワークの強化(3連符系)			
14	7月8日	コーディネーションを使ったフィルイン練習(16分系)			
15	7月14日	コーディネーションを使ったフィルイン練習(3連符系)			
16	8月18日	ソウル、R&Bなどグルーブの習得①			
17	8月19日	ソウル、R&Bなどグルーブの習得②			
18	8月25日	ブルースなどのシャッフルの習得			
19	8月26日	2拍3連を使ったシャッフルの習得			
20	9月2日	ゴーストノートの習得			
21	9月3日	ボサノバ、サンバなどのブラジル音楽を習得			
22	9月8日	サンバリズムの強化			
23	9月9日	チャチャやソンなどのキューバ音楽の習得			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	DTMⅢ				担当講師	谷津 祐子	
講師実務経験	大学非常勤講師						
対象学年	2	学年	対象専攻	ミュージシャンコース各専攻		授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
5期	1年次に習得した基礎操作を使って、簡単なテーマに沿った作曲・編曲ができる						
6期	応用的な操作を習得し、テーマや決められた枠に沿った作曲・編曲ができる						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月14日	授業ガイダンス					
2	4月21日	曲を構成する要素と効果について					
3	5月12日	テーマに沿った制作1-1					
4	5月19日	テーマに沿った制作1-2					
5	6月23日	テーマに沿った制作2-1					
6	6月30日	テーマに沿った制作2-2					
7	7月7日	テーマに沿った制作3-1					
8	7月14日	テーマに沿った制作3-2					
9	8月18日	テーマに沿った制作3-3					
10	8月25日	テーマに沿った制作4-1					
11	9月1日	テーマに沿った制作4-2					
12	9月8日	テーマに沿った制作4-3					
評価方法	実技習得度(100%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	リズムⅡ		担当講師	神田 直樹	
講師実務経験	音楽教室、通信制高等学校勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
5期	音符によるリズムの理解を習得。				
6期	ジャンルごとによるリズムを習得				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス・音符のリーディング・ヒアリング			
2	4月20日	3連系の種類について			
3	5月11日	連符の種類について			
4	5月18日	リズム符の確認テスト			
5	6月22日	平坦にならないグルーブについて			
6	6月29日	8グルーブについて			
7	7月6日	16グルーブについて			
8	7月13日	トリプレットについて			
9	8月17日	シャッフルについて			
10	8月24日	バウンスするリズムについて			
11	8月31日	筆記試験対策授業			
12	9月7日	実技試験			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽理論 I		担当講師	谷津 祐子			
講師実務経験	大学非常勤講師						
対象学年	2	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	講義
期間	5期・6期	総授業回数	12	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
5期	1年次の学習内容である基礎知識を発展させ、読譜・記譜の応用力を高める						
6期	楽曲分析やアレンジを通じて作曲・編曲の実践力と高める						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月16日	授業ガイダンス					
2	4月23日	リズムアレンジ基礎					
3	5月14日	リズムアレンジ応用					
4	5月21日	単旋律アレンジ基礎					
5	5月18日	単旋律アレンジ応用					
6	5月25日	複旋律アレンジ基礎					
7	7月2日	複旋律アレンジ応用					
8	7月9日	楽曲分析 1					
9	8月20日	楽曲分析 2					
10	8月27日	総合的なアレンジ 1					
11	9月3日	総合的なアレンジ 2					
12	9月10日	総合的なアレンジ 3					
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	KEY実習		担当講師	松並 姿帆	
講師実務経験	ピアニスト				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	鍵盤における基礎練習と基本的な音階を修得する。				
6期	ピアノ曲を用いて鍵盤技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス・ハノンを用いた基礎練習			
2	4月20日	ハノン・スケール(嬰種)			
3	5月11日	ハノン・スケール(変種)			
4	5月18日	ハノン・全調カデンツ			
5	6月22日	ハノン・Happy Birth Day To You(Mildred J.Hill)①			
6	6月29日	ハノン・Happy Birth Day To You(Mildred J.Hill)②			
7	7月6日	ハノン・Happy Birth Day To You(Mildred J.Hill)③			
8	7月13日	ハノン・メヌエット(J.S.Bach)①			
9	8月17日	ハノン・メヌエット(J.S.Bach)②			
10	8月24日	ハノン・メヌエット(J.S.Bach)③			
11	8月31日	実技試験①			
12	9月7日	実技試験②			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	聴音		担当講師	松並 姿帆	
講師実務経験	ピアニスト				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	複雑なリズムの聞き取りを修得する。				
6期	音程を理解し、聞き取ることを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス			
2	4月20日	基本的な音符のリズム(2分音符・4分音符・8分音符・16分音符)			
3	5月11日	様々な連符のリズム(3連符・5連符・6連符)			
4	5月18日	様々な拍子のリズム(2拍子・3拍子・6拍子・8拍子)			
5	6月22日	様々な記号のリズム(タイ・符点)			
6	6月29日	リズム聴音まとめ・小テスト			
7	7月6日	全調スケール			
8	7月13日	全音符での音程聞き取り			
9	8月17日	簡単な旋律聴音①(単音)			
10	8月24日	簡単な旋律聴音②(4小節の聞き取り全音符)			
11	8月31日	簡単な旋律聴音③(4小節の聞き取り全音符)			
12	9月7日	試験対策			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	五線譜用意				
注意事項	12時間中4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作詞Ⅲ		担当講師	吉田 佳代	
講師実務経験	シンガーソングライター・作詞講師・ボイストレーナー				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	仕事の依頼を受けたと想定し企画に合わせた作品を完成させる。				
6期	プロフェッショナルな作詞をし、完成させた作品を推敲しチェックするスキルを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	企画に合わせた作品を作る 10代の男性・女性アーティスト向け			
2	4月20日	企画に合わせた作品を作る 10代の男性・女性アーティスト向け			
3	5月11日	企画に合わせた作品を作る 男性ユニット 飲料のCMタイアップ			
4	5月18日	企画に合わせた作品を作る 男性ユニット 飲料のCMタイアップ			
5	6月22日	企画に合わせた作品を作る 30代アーティスト ホームドラマタイアップ			
6	6月29日	企画に合わせた作品を作る 31代アーティスト ホームドラマタイアップ			
7	7月6日	企画に合わせた作品を作る 20代 ヒューマンドラマ・映画			
8	7月13日	企画に合わせた作品を作る 20代 ヒューマンドラマ・映画			
9	8月17日	企画に合わせた作品を作る 年代自由 オリンピックタイアップ			
10	8月24日	企画に合わせた作品を作る 年代自由 オリンピックタイアップ			
11	8月31日	企画に合わせた作品を作る 自分が歌う デビュー作品として			
12	9月7日	企画に合わせた作品を作る 自分が歌う デビュー作品として			
評価方法	実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	アンサンブル実習Ⅲ		担当講師	曾山、田森(仁)、木村、田森(正)、水口、松並	
講師実務経験	プロミュージシャン				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	405 分
期	修 得 目 標				
5期	ライブイベントに向けた楽曲制作と、譜面、セッティング図等の資料完成。				
6期	より魅力的な楽曲作りと、より魅力的な表現。アンサンブルスキルの向上。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日 4月16日 4月17日	新入生歓迎ライブに向けた状況確認			
2	4月20日 4月23日 4月24日	新入生歓迎ライブの最終チェック			
3	5月8日 5月11日 5月14日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
4	5月15日 5月18日 5月21日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
5	5月22日 6月18日 6月19日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
6	6月22日 6月25日 6月26日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
7	6月29日 7月2日 7月3日	新曲の作成			
8	7月6日 7月9日 7月10日	新曲の作成			
9	7月13日 8月17日 8月20日	新曲の作成			
10	8月21日 8月24日 8月27日	新規楽曲でのバンドアンサンブル			
11	8月28日 8月31日 9月3日	新規楽曲でのバンドアンサンブル			
12	9月4日 9月7日 9月10日	新規楽曲でのバンドアンサンブル			
評価方法	実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	108時間中37時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ヴォーカル実習Ⅲ		担当講師	田森 仁子	
講師実務経験	ヴォーカルトレーナー				
対象学年	2 学年	対象専攻	ヴォーカル専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	トータルトレーニングを基礎に、ステージングを含むオリジナル曲の充実				
6期	ヴォーカルテクニックの強化と共に様々なリズムスタイルの楽曲を歌う				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	基礎知識確認			
2	4月15日	2度～3度のトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
3	4月21日	3度～4度のトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
4	4月22日	4度～5度のトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
5	5月12日	5度オルタードのトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
6	5月13日	5度オルタードとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
7	5月19日	6度オルタードとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
8	5月20日	6度のトータルトレーニングとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
9	6月23日	6度のトータルトレーニングとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
10	6月24日	6度のトータルトレーニングとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
11	6月30日	6度オルタードとリズムスタイル・オリジナル曲メイク			
12	7月1日	6度オルタードとリズムスタイル・オリジナル曲メイク			
13	7月7日	6度オルタードとリズムスタイル・オリジナル曲メイク			
14	7月8日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
15	7月14日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
16	8月18日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
17	8月19日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
18	8月25日	7度オルタードとリズムアンサンブル			
19	8月26日	7度オルタードとリズムアンサンブル			
20	9月2日	7度オルタードとリズムアンサンブル			
21	9月3日	オクターブのトータルトレーニング・ヴォーカルテクニック			
22	9月8日	オクターブのトータルトレーニング・ヴォーカルテクニック			
23	9月9日	オクターブのトータルトレーニング・ヴォーカルテクニック			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ギター実習Ⅲ		担当講師	曾山 良一	
講師実務経験	プリギタリスト・作曲家				
対象学年	2 学年	対象専攻	ギター専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	ギター特融のコードプレイ完全理解・実践				
6期	カッティング・アルペジオ				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	AG・EGメカニカルトレーニング/現時点での各自コード理解チェック			
2	4月15日	AG・EGメカニカルトレーニング/openコードからの応用<EX資料>			
3	4月21日	AG・EGメカニカルトレーニング/同一コードの指板展開<EX資料>			
4	4月22日	AG・EGメカニカルトレーニング/テンションコード・不協和音コード			
5	5月12日	AG・EGメカニカルトレーニング/カポタストによるコード完全理解			
6	5月13日	AG・EGメカニカルトレーニング/カポタストによるEX初見練習			
7	5月19日	AG・EGメカニカルトレーニング/与えられたコードによるカッティング<EX資料>			
8	5月20日	AG・EGメカニカルトレーニング/与えられたコードによるカッティング・アルペジオ<EX>			
9	6月23日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードバック①			
10	6月24日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードバック②			
11	6月30日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードバック③			
12	7月1日	AG・EGメカニカルトレーニング/同一コード進行に於ける指板移動展開			
13	7月7日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードオブリガードについて			
14	7月8日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードコンビネーションプレイについて			
15	7月14日	AG・EGメカニカルトレーニング/コードプレイからみるソロワーク考			
16	8月18日	AG・EGメカニカルトレーニング			
17	8月19日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料による初見コードプレイ			
18	8月25日	AG・EGメカニカルトレーニング/コードプレイに於けるトーンセレクト考			
19	8月26日	AG・EGメカニカルトレーニング/フィンガーピッキングによるコードプレイスタイル			
20	9月2日	AG・EGメカニカルトレーニング/フィンガーピッキングアルペジオ奏法			
21	9月3日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるラグタイム奏法			
22	9月8日	AG・EGメカニカルトレーニング/エフェクトによるコードプレイ考			
23	9月9日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードプレイまとめ			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ベース実習Ⅲ		担当講師	木村 圭子	
講師実務経験	プロベージスト・音楽スクール講師				
対象学年	2 学年	対象専攻	ベース専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	基礎を強化し、アーティキュレーションに関わるテクニックを体得する				
6期	様々な音楽のグルーヴを感じ、理解し、プレイできるようにする				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	現状の把握と1年次の確認			
2	4月15日	フィンガーピッキング I フォームについて レイキングとオルタネイト ミュートについて			
3	4月21日	フィンガーピッキング II バリエーションとダイナミクスのコントロールについて			
4	4月22日	ピック奏法 I ピッキングフォームとアングルについて			
5	5月12日	ピック奏法 II ダウンピッキングとオルタネイトピッキング			
6	5月13日	アーティキュレーション I スタッカート&レガート 音価について			
7	5月19日	アーティキュレーション II ハンマリング & プリング			
8	5月20日	アーティキュレーション III スライド & グリッサンド			
9	6月23日	アーティキュレーション IV ヴィブラート & ベンディング			
10	6月24日	アーティキュレーション V I ~ IV を応用しラインメイク			
11	6月30日	Slap奏法 I 基本フォームについて LHM サムピング & プルトレーニング			
12	7月1日	Slap奏法 II サムピング & プルのコンビネーション			
13	7月7日	フィールについて 8feel・16feel・バウンスfeelトレーニング			
14	7月8日	課題曲 Rock I Finger/Pick 8feel			
15	7月14日	課題曲 Rock II Finger/Pick shuffle			
16	8月18日	課題曲 Pops I Finger/Slap・16feel ゴーストノートについて			
17	8月19日	課題曲 Pops II Finger・バラード			
18	8月25日	課題曲 Soul Finger・16feel モータウングルーヴ			
19	8月26日	課題曲 Blues Finger/Pick バウンスfeel			
20	9月2日	課題曲 Funk I Slap・16feel サムアップ・ダウントレーニング			
21	9月3日	課題曲 Funk II Slap・16feel ロータリー奏法トレーニング			
22	9月8日	メンテナンスについて			
23	9月9日	実技修得度試験			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	読譜・リズムトレーニング・フィンガリングトレーニングは毎レッスン実施				
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ドラム実習Ⅲ		担当講師	田森 正行	
講師実務経験	音楽家				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース		授業形態 実習
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	スティックコントロールやフットワークなどの基礎練習を目的意識を持ちながら行う。				
6期	グルーブの違いを感じながら様々なジャンルのリズムを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	アクセントやチェンジアップなどの復習(16分系)			
2	4月15日	アクセントやチェンジアップなどの復習(3連符系)			
3	4月21日	シングルストロークとダブルストロークの移行をしながらチェンジアップ			
4	4月22日	5ストロークロールや7ストロークロールの練習(16分系)			
5	5月12日	5ストロークロールや7ストロークロールの練習(3連符系)			
6	5月13日	フラムを使ったフィルイン練習(16分系)			
7	5月19日	フラムを使ったフィルイン練習(3連符系)			
8	5月20日	ラフを使ったフィルイン練習(16分系)			
9	6月23日	ラフを使ったフィルイン練習(3連符系)			
10	6月24日	パラディドルを使ったフィルイン練習(16分系)			
11	6月30日	パラディドルを使ったフィルイン練習(3連符系)			
12	7月1日	ダブルのフットワークの強化(16分系)			
13	7月7日	ダブルのフットワークの強化(3連符系)			
14	7月8日	コーディネーションを使ったフィルイン練習(16分系)			
15	7月14日	コーディネーションを使ったフィルイン練習(3連符系)			
16	8月18日	ソウル、R&Bなどグルーブの習得①			
17	8月19日	ソウル、R&Bなどグルーブの習得②			
18	8月25日	ブルースなどのシャッフルの習得			
19	8月26日	2拍3連を使ったシャッフルの習得			
20	9月2日	ゴーストノートの習得			
21	9月3日	ボサノバ、サンバなどのブラジル音楽を習得			
22	9月8日	サンバリズムの強化			
23	9月9日	チャチャやソンなどのキューバ音楽の習得			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	DTMⅢ				担当講師	谷津 祐子	
講師実務経験	大学非常勤講師						
対象学年	2	学年	対象専攻	ミュージシャンコース各専攻		授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
5期	1年次に習得した基礎操作を使って、簡単なテーマに沿った作曲・編曲ができる						
6期	応用的な操作を習得し、テーマや決められた枠に沿った作曲・編曲ができる						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月14日	授業ガイダンス					
2	4月21日	曲を構成する要素と効果について					
3	5月12日	テーマに沿った制作1-1					
4	5月19日	テーマに沿った制作1-2					
5	6月23日	テーマに沿った制作2-1					
6	6月30日	テーマに沿った制作2-2					
7	7月7日	テーマに沿った制作3-1					
8	7月14日	テーマに沿った制作3-2					
9	8月18日	テーマに沿った制作3-3					
10	8月25日	テーマに沿った制作4-1					
11	9月1日	テーマに沿った制作4-2					
12	9月8日	テーマに沿った制作4-3					
評価方法	実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	リズムⅡ		担当講師	神田 直樹	
講師実務経験	音楽教室、通信制高等学校勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
5期	音符によるリズムの理解を習得。				
6期	ジャンルごとによるリズムを習得				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス・音符のリーディング・ヒアリング			
2	4月20日	3連系の種類について			
3	5月11日	連符の種類について			
4	5月18日	リズム符の確認テスト			
5	6月22日	平坦にならないグルーヴについて			
6	6月29日	8グルーヴについて			
7	7月6日	16グルーヴについて			
8	7月13日	トリプレットについて			
9	8月17日	シャッフルについて			
10	8月24日	バウンスするリズムについて			
11	8月31日	筆記試験対策授業			
12	9月7日	実技試験			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽理論 I		担当講師	谷津 祐子			
講師実務経験	大学非常勤講師						
対象学年	2	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	講義
期間	5期・6期	総授業回数	12	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
5期	1年次の学習内容である基礎知識を発展させ、読譜・記譜の応用力を高める						
6期	楽曲分析やアレンジを通じて作曲・編曲の実践力と高める						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月16日	授業ガイダンス					
2	4月23日	リズムアレンジ基礎					
3	5月14日	リズムアレンジ応用					
4	5月21日	単旋律アレンジ基礎					
5	5月18日	単旋律アレンジ応用					
6	5月25日	複旋律アレンジ基礎					
7	7月2日	複旋律アレンジ応用					
8	7月9日	楽曲分析 1					
9	8月20日	楽曲分析 2					
10	8月27日	総合的なアレンジ 1					
11	9月3日	総合的なアレンジ 2					
12	9月10日	総合的なアレンジ 3					
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	KEY実習		担当講師	松並 姿帆	
講師実務経験	ピアニスト				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	鍵盤における基礎練習と基本的な音階を修得する。				
6期	ピアノ曲を用いて鍵盤技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス・ハノンを用いた基礎練習			
2	4月20日	ハノン・スケール(嬰種)			
3	5月11日	ハノン・スケール(変種)			
4	5月18日	ハノン・全調カデンツ			
5	6月22日	ハノン・Happy Birth Day To You(Mildred J.Hill)①			
6	6月29日	ハノン・Happy Birth Day To You(Mildred J.Hill)②			
7	7月6日	ハノン・Happy Birth Day To You(Mildred J.Hill)③			
8	7月13日	ハノン・メヌエット(J.S.Bach)①			
9	8月17日	ハノン・メヌエット(J.S.Bach)②			
10	8月24日	ハノン・メヌエット(J.S.Bach)③			
11	8月31日	実技試験①			
12	9月7日	実技試験②			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	聴音		担当講師	松並 姿帆	
講師実務経験	ピアニスト				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	複雑なリズムの聞き取りを修得する。				
6期	音程を理解し、聞き取ることを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス			
2	4月20日	基本的な音符のリズム(2分音符・4分音符・8分音符・16分音符)			
3	5月11日	様々な連符のリズム(3連符・5連符・6連符)			
4	5月18日	様々な拍子のリズム(2拍子・3拍子・6拍子・8拍子)			
5	6月22日	様々な記号のリズム(タイ・符点)			
6	6月29日	リズム聴音まとめ・小テスト			
7	7月6日	全調スケール			
8	7月13日	全音符での音程聞き取り			
9	8月17日	簡単な旋律聴音①(単音)			
10	8月24日	簡単な旋律聴音②(4小節の聞き取り全音符)			
11	8月31日	簡単な旋律聴音③(4小節の聞き取り全音符)			
12	9月7日	試験対策			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	五線譜用意				
注意事項	12時間中4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作詞Ⅲ		担当講師	吉田 佳代	
講師実務経験	シンガーソングライター・作詞講師・ボイストレーナー				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	仕事の依頼を受けたと想定し企画に合わせた作品を完成させる。				
6期	プロフェッショナルな作詞をし、完成させた作品を推敲しチェックするスキルを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	企画に合わせた作品を作る 10代の男性・女性アーティスト向け			
2	4月20日	企画に合わせた作品を作る 10代の男性・女性アーティスト向け			
3	5月11日	企画に合わせた作品を作る 男性ユニット 飲料のCMタイアップ			
4	5月18日	企画に合わせた作品を作る 男性ユニット 飲料のCMタイアップ			
5	6月22日	企画に合わせた作品を作る 30代アーティスト ホームドラマタイアップ			
6	6月29日	企画に合わせた作品を作る 31代アーティスト ホームドラマタイアップ			
7	7月6日	企画に合わせた作品を作る 20代 ヒューマンドラマ・映画			
8	7月13日	企画に合わせた作品を作る 20代 ヒューマンドラマ・映画			
9	8月17日	企画に合わせた作品を作る 年代自由 オリンピックタイアップ			
10	8月24日	企画に合わせた作品を作る 年代自由 オリンピックタイアップ			
11	8月31日	企画に合わせた作品を作る 自分が歌う デビュー作品として			
12	9月7日	企画に合わせた作品を作る 自分が歌う デビュー作品として			
評価方法	実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	アンサンブル実習Ⅲ		担当講師	曾山、田森(仁)、木村、田森(正)、水口、松並	
講師実務経験	プロミュージシャン				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	405 分
期	修 得 目 標				
5期	ライブイベントに向けた楽曲制作と、譜面、セッティング図等の資料完成。				
6期	より魅力的な楽曲作りと、より魅力的な表現。アンサンブルスキルの向上。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日 4月16日 4月17日	新入生歓迎ライブに向けた状況確認			
2	4月20日 4月23日 4月24日	新入生歓迎ライブの最終チェック			
3	5月8日 5月11日 5月14日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
4	5月15日 5月18日 5月21日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
5	5月22日 6月18日 6月19日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
6	6月22日 6月25日 6月26日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン			
7	6月29日 7月2日 7月3日	新曲の作成			
8	7月6日 7月9日 7月10日	新曲の作成			
9	7月13日 8月17日 8月20日	新曲の作成			
10	8月21日 8月24日 8月27日	新規楽曲でのバンドアンサンブル			
11	8月28日 8月31日 9月3日	新規楽曲でのバンドアンサンブル			
12	9月4日 9月7日 9月10日	新規楽曲でのバンドアンサンブル			
評価方法	実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	108時間中37時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ヴォーカル実習Ⅲ		担当講師	田森 仁子	
講師実務経験	ヴォーカルトレーナー				
対象学年	2 学年	対象専攻	ヴォーカル専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	トータルトレーニングを基礎に、ステージングを含むオリジナル曲の充実				
6期	ヴォーカルテクニックの強化と共に様々なリズムスタイルの楽曲を歌う				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	基礎知識確認			
2	4月15日	2度～3度のトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
3	4月21日	3度～4度のトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
4	4月22日	4度～5度のトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
5	5月12日	5度オルタードのトータルトレーニング・オリジナル曲メイク			
6	5月13日	5度オルタードとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
7	5月19日	6度オルタードとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
8	5月20日	6度のトータルトレーニングとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
9	6月23日	6度のトータルトレーニングとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
10	6月24日	6度のトータルトレーニングとヴォーカルテクニック・オリジナル曲メイク			
11	6月30日	6度オルタードとリズムスタイル・オリジナル曲メイク			
12	7月1日	6度オルタードとリズムスタイル・オリジナル曲メイク			
13	7月7日	6度オルタードとリズムスタイル・オリジナル曲メイク			
14	7月8日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
15	7月14日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
16	8月18日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
17	8月19日	7度のトータルトレーニングとリズムスタイル・英語			
18	8月25日	7度オルタードとリズムアンサンブル			
19	8月26日	7度オルタードとリズムアンサンブル			
20	9月2日	7度オルタードとリズムアンサンブル			
21	9月3日	オクターブのトータルトレーニング・ヴォーカルテクニック			
22	9月8日	オクターブのトータルトレーニング・ヴォーカルテクニック			
23	9月9日	オクターブのトータルトレーニング・ヴォーカルテクニック			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ギター実習Ⅲ		担当講師	曾山 良一	
講師実務経験	プリギタリスト・作曲家				
対象学年	2 学年	対象専攻	ギター専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	ギター特融のコードプレイ完全理解・実践				
6期	カッティング・アルペジオ				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	AG・EGメカニカルトレーニング/現時点での各自コード理解チェック			
2	4月15日	AG・EGメカニカルトレーニング/openコードからの応用<EX資料>			
3	4月21日	AG・EGメカニカルトレーニング/同一コードの指板展開<EX資料>			
4	4月22日	AG・EGメカニカルトレーニング/テンションコード・不協和音コード			
5	5月12日	AG・EGメカニカルトレーニング/カポタストによるコード完全理解			
6	5月13日	AG・EGメカニカルトレーニング/カポタストによるEX初見練習			
7	5月19日	AG・EGメカニカルトレーニング/与えられたコードによるカッティング<EX資料>			
8	5月20日	AG・EGメカニカルトレーニング/与えられたコードによるカッティング・アルペジオ<EX>			
9	6月23日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードバック①			
10	6月24日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードバック②			
11	6月30日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードバック③			
12	7月1日	AG・EGメカニカルトレーニング/同一コード進行に於ける指板移動展開			
13	7月7日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードオブリガードについて			
14	7月8日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードコンビネーションプレイについて			
15	7月14日	AG・EGメカニカルトレーニング/コードプレイからみるソロワーク考			
16	8月18日	AG・EGメカニカルトレーニング			
17	8月19日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料による初見コードプレイ			
18	8月25日	AG・EGメカニカルトレーニング/コードプレイに於けるトーンセレクト考			
19	8月26日	AG・EGメカニカルトレーニング/フィンガーピッキングによるコードプレイスタイル			
20	9月2日	AG・EGメカニカルトレーニング/フィンガーピッキングアルペジオ奏法			
21	9月3日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるラグタイム奏法			
22	9月8日	AG・EGメカニカルトレーニング/エフェクトによるコードプレイ考			
23	9月9日	AG・EGメカニカルトレーニング/EX資料によるコードプレイまとめ			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ベース実習Ⅲ		担当講師	木村 圭子	
講師実務経験	プロベージスト・音楽スクール講師				
対象学年	2 学年	対象専攻	ベース専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	基礎を強化し、アーティキュレーションに関わるテクニックを体得する				
6期	様々な音楽のグルーヴを感じ、理解し、プレイできるようにする				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	現状の把握と1年次の確認			
2	4月15日	フィンガーピッキング I フォームについて レイキングとオルタネイト ミュートについて			
3	4月21日	フィンガーピッキング II バリエーションとダイナミクスのコントロールについて			
4	4月22日	ピック奏法 I ピッキングフォームとアングルについて			
5	5月12日	ピック奏法 II ダウンピッキングとオルタネイトピッキング			
6	5月13日	アーティキュレーション I スタッカート&レガート 音価について			
7	5月19日	アーティキュレーション II ハンマリング & プリング			
8	5月20日	アーティキュレーション III スライド & グリッサンド			
9	6月23日	アーティキュレーション IV ヴィブラート & ベンディング			
10	6月24日	アーティキュレーション V I ~ IV を応用しラインメイク			
11	6月30日	Slap奏法 I 基本フォームについて LHM サムピング & プルトレーニング			
12	7月1日	Slap奏法 II サムピング & プルのコンビネーション			
13	7月7日	フィールについて 8feel・16feel・バウンスfeelトレーニング			
14	7月8日	課題曲 Rock I Finger/Pick 8feel			
15	7月14日	課題曲 Rock II Finger/Pick shuffle			
16	8月18日	課題曲 Pops I Finger/Slap・16feel ゴーストノートについて			
17	8月19日	課題曲 Pops II Finger・バラード			
18	8月25日	課題曲 Soul Finger・16feel モータウングルーヴ			
19	8月26日	課題曲 Blues Finger/Pick バウンスfeel			
20	9月2日	課題曲 Funk I Slap・16feel サムアップ・ダウントレーニング			
21	9月3日	課題曲 Funk II Slap・16feel ロータリー奏法トレーニング			
22	9月8日	メンテナンスについて			
23	9月9日	実技修得度試験			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	読譜・リズムトレーニング・フィンガリングトレーニングは毎レッスン実施				
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ドラム実習Ⅲ		担当講師	田森 正行	
講師実務経験	音楽家				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	23 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	スティックコントロールやフットワークなどの基礎練習を目的意識を持ちながら行う。				
6期	グルーブの違いを感じながら様々なジャンルのリズムを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	アクセントやチェンジアップなどの復習(16分系)			
2	4月15日	アクセントやチェンジアップなどの復習(3連符系)			
3	4月21日	シングルストロークとダブルストロークの移行をしながらチェンジアップ			
4	4月22日	5ストロークロールや7ストロークロールの練習(16分系)			
5	5月12日	5ストロークロールや7ストロークロールの練習(3連符系)			
6	5月13日	フラムを使ったフィルイン練習(16分系)			
7	5月19日	フラムを使ったフィルイン練習(3連符系)			
8	5月20日	ラフを使ったフィルイン練習(16分系)			
9	6月23日	ラフを使ったフィルイン練習(3連符系)			
10	6月24日	パラディドルを使ったフィルイン練習(16分系)			
11	6月30日	パラディドルを使ったフィルイン練習(3連符系)			
12	7月1日	ダブルのフットワークの強化(16分系)			
13	7月7日	ダブルのフットワークの強化(3連符系)			
14	7月8日	コーディネーションを使ったフィルイン練習(16分系)			
15	7月14日	コーディネーションを使ったフィルイン練習(3連符系)			
16	8月18日	ソウル、R&Bなどグルーブの習得①			
17	8月19日	ソウル、R&Bなどグルーブの習得②			
18	8月25日	ブルースなどのシャッフルの習得			
19	8月26日	2拍3連を使ったシャッフルの習得			
20	9月2日	ゴーストノートの習得			
21	9月3日	ボサノバ、サンバなどのブラジル音楽を習得			
22	9月8日	サンバリズムの強化			
23	9月9日	チャチャやソンなどのキューバ音楽の習得			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	69時間中24時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	DTMⅢ			担当講師	谷津 祐子		
講師実務経験	大学非常勤講師						
対象学年	2	学年	対象専攻	ミュージシャンコース各専攻		授業形態	実習
期間	5期・6期	総授業回数	12	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
5期	1年次に習得した基礎操作を使って、簡単なテーマに沿った作曲・編曲ができる						
6期	応用的な操作を習得し、テーマや決められた枠に沿った作曲・編曲ができる						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月14日	授業ガイダンス					
2	4月21日	曲を構成する要素と効果について					
3	5月12日	テーマに沿った制作1-1					
4	5月19日	テーマに沿った制作1-2					
5	6月23日	テーマに沿った制作2-1					
6	6月30日	テーマに沿った制作2-2					
7	7月7日	テーマに沿った制作3-1					
8	7月14日	テーマに沿った制作3-2					
9	8月18日	テーマに沿った制作3-3					
10	8月25日	テーマに沿った制作4-1					
11	9月1日	テーマに沿った制作4-2					
12	9月8日	テーマに沿った制作4-3					
評価方法	実技習得度(100%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	リズムⅡ		担当講師	神田 直樹	
講師実務経験	音楽教室、通信制高等学校勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
5期	音符によるリズムの理解を習得。				
6期	ジャンルごとによるリズムを習得				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス・音符のリーディング・ヒアリング			
2	4月20日	3連系の種類について			
3	5月11日	連符の種類について			
4	5月18日	リズム符の確認テスト			
5	6月22日	平坦にならないグルーヴについて			
6	6月29日	8グルーヴについて			
7	7月6日	16グルーヴについて			
8	7月13日	トリプレットについて			
9	8月17日	シャッフルについて			
10	8月24日	バウンスするリズムについて			
11	8月31日	筆記試験対策授業			
12	9月7日	実技試験			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽理論 I		担当講師	谷津 祐子			
講師実務経験	大学非常勤講師						
対象学年	2	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
5期	1年次の学習内容である基礎知識を発展させ、読譜・記譜の応用力を高める						
6期	楽曲分析やアレンジを通じて作曲・編曲の実践力と高める						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月16日	授業ガイダンス					
2	4月23日	リズムアレンジ基礎					
3	5月14日	リズムアレンジ応用					
4	5月21日	単旋律アレンジ基礎					
5	5月18日	単旋律アレンジ応用					
6	5月25日	複旋律アレンジ基礎					
7	7月2日	複旋律アレンジ応用					
8	7月9日	楽曲分析 1					
9	8月20日	楽曲分析 2					
10	8月27日	総合的なアレンジ 1					
11	9月3日	総合的なアレンジ 2					
12	9月10日	総合的なアレンジ 3					
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	就職活動講座 I		担当講師	木下 有希	
講師実務経験	マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B組		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。				
6期	社会人に必要なビジネスマナーを身に付ける。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	面接の形式について			
2	4月21日	入退室のマナー			
3	5月12日	グループディスカッション			
4	5月19日	筆記試験対策(作文)			
5	5月26日 6月23日	筆記試験対策(作文)			
6	6月30日	訪問のマナー			
7	7月7日	名刺交換			
8	7月14日	報告・連絡・相談			
9	8月18日	報告・連絡・相談			
10	8月25日	食事のマナー			
11	9月2日	社交儀礼			
12	9月8日	社交儀礼			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で修得済評価不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	片岡 朋子/一岡 永	
講師実務経験	イベント制作会社勤務/音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B組		授業形態 講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間 45 分	
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。				
6期	就職活動をサポートする。社会人に必要なマナーを身に付ける。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	スタログ利用方法説明(求人検索方法)			
2	4月24日	企業情報、求人情報の提供①			
3	5月8日	就職活動計画の見直し①			
4	5月15日	面接対策(集団面接、個人面接)			
5	5月22日	志望動機作成(見直し) / 企業情報、求人情報の提供②			
6	5月29日 6月19日	筆記試験対策(一般常識)			
7	6月26日	税金について ※特別講師			
8	7月3日	企業研修中の取り組みについて			
9	7月10日	社会人としての心構え / 企業情報、求人情報の提供②			
10	8月21日	OB講話 ※OB来校			
11	8月28日	応募書類見直し(履歴書、志望動機、自己PR、アルバイト経歴書)			
12	9月4日	就職活動計画の見直し②			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	12時間中5時間の欠席で修得済評価不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	イベント制作Ⅲ		担当講師	片岡 朋子／城地 紀子	
講師実務経験	イベント制作会社勤務 / 会館運営管理財団勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント制作専攻	授業形態	演習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	1年生で学んだことをもとに、実際に行うイベント「新入生歓迎ライブ」「定期公演」を実施。準備を通して制作・運営方法を修得する。				
6期	「定期公演」実施を振り返り、会館利用法、広報活動、集客方法、イベント予算、経費、仕事効率についても実践を持って修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス / 新入生歓迎ライブ 台本制作、定期公演 スケジュール作成			
2	4月20日	新入生歓迎ライブ 台本・パンフレット制作			
3	5月11日	新入生歓迎ライブ 反省会 / 定期公演 各セクション進捗状況報告会			
4	5月18日	定期公演 台本制作、各セクション打合せ～準備			
5	6月22日	定期公演 反省会			
6	6月29日	定期公演 振り返り、資料整理、報告書作成			
7	7月6日	定期公演 実施費用、申請書類について			
8	7月13日	イベントスケジュール復習(優先順位、所要時間、トラブル対策)			
9	8月17日	スケジュール作成実践①			
10	8月24日	スケジュール作成実践②			
11	8月31日	出演依頼、ブッキングについて			
12	9月7日	前期振り返り / 定期試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	なし				
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	パソコン実習Ⅱ			担当講師	菊池 亮太
講師実務経験	広告代理店勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント制作専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	パソコンの基本・応用操作、Officeの基本・応用の習得				
6期	パソコンの基本・応用操作、Officeの基本・応用の習得				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス 1年の復習			
2	4月20日	Excel: 検索行列関数等の習得			
3	5月11日	Excel: 情報処理検定準2級問題演習 PowerPoint: スライドの作成と編集			
4	5月18日	Word: ビジュアル文書作成 Excel: 情報処理検定準2級問題演習			
5	6月22日	Excel: 情報処理検定準2級問題演習 PowerPoint: スライドの作成と編集			
6	6月29日	Word: ビジュアル文書作成 Excel: 情報処理検定準2級問題演習			
7	7月6日	Excel: 情報処理検定準2級問題演習 PowerPoint: スライドの作成と編集			
8	7月13日	Word: ビジュアル文書作成 Excel: 情報処理検定準2級問題演習			
9	8月17日	Excel: 情報処理検定準2級問題演習 PowerPoint: スライドの作成と編集			
10	8月24日	Word: ビジュアル文書作成 Excel: 情報処理検定準2級問題演習			
11	8月31日	Excel: 情報処理検定準2級問題演習 PowerPoint: スライドの作成と編集			
12	9月7日	5期・6期の復習			
評価方法	実技習得度(100%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下)				
テキスト					
注意事項	36時間中13時間以上の欠席で進級できません(留年となります)				

科目名	ビジネスマナーⅡ		担当講師	木下 有希	
講師実務経験	マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント制作専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	1年次に修得したことを応用し「サービス接客実務検定2級」合格を目標とする。				
6期	コンサート、イベントの制作スタッフや社会人に必要なビジネスマナーを習得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	検定対策 社交儀礼 過去問題、解答と解説			
2	4月21日	検定対策 過去問題、解答と解説			
3	5月12日	検定対策 過去問題、解答と解説			
4	5月19日	検定対策 過去問題、解答と解説			
5	5月26日	検定対策(6/23振替) 過去問題、解答と解説			
6	6月2日	検定対策(6/30振替) 過去問題、解答と解説			
7	7月7日	電話応対			
8	7月14日	電話応対			
9	8月18日	ビジネス文書の知識			
10	8月25日	来客応対			
11	9月2日	来客応対			
12	9月8日	食事のマナー			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	アーティストプロモーションⅡ		担当講師	齋藤 晶子	
講師実務経験	イベンター・レコード会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント制作専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	アーティストの企画戦略、マネージメント、ソーシャルメディアや媒体の宣伝効果を修得する。				
6期	音楽作品ができるまでの工程を逆算し、効果的なプロモーションにつなげる				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス			
2	4月21日	プロダクション・イベンター・レコード会社の仕事・役割			
3	5月12日	媒体・ソーシャルメディアを利用した宣伝・効果			
4	5月19日	アーティストマネージメントの仕事とは			
5	6月23日	アーティストプロモーションの仕事とは			
6	6月30日	レコード会社の仕事とは			
7	7月7日	野外音楽フェスティバルを学ぶ			
8	7月14日	音楽にまつわる仕事のまとめ			
9	8月18日	音楽にまつわる仕事のおさらい			
10	8月25日	CDができるまでの工程を知る			
11	9月2日	CDが店頭で並ぶまでの工程を知る			
12	9月8日	試験対策			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	12回中5回の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	舞台演出Ⅱ		担当講師	立川 佳吾	
講師実務経験	トランク機械シアターでの作品を中心に、演出を行っている。				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント制作専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	実際の公演に向けての準備・演出・相手に伝え、実践してもらう				
6期	戯曲を読み、読解してみる。書かれている意図を捉えてみる				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	新歓ライブ準備			
2	4月21日	新歓ライブ準備			
3	5月12日	定期公演準備			
4	5月19日	定期公演準備			
5	6月23日	短編戯曲読解1			
6	6月30日	短編戯曲読解1			
7	7月7日	短編戯曲読解2			
8	7月14日	短編戯曲読解2			
9	8月18日	戯曲読解3			
10	8月25日	戯曲読解3			
11	9月1日	戯曲読解3			
12	9月8日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	DTP実習Ⅲ		担当講師	金田一 樹生	
講師実務経験	広告制作会社に勤務後独立				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント制作専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	デザインの制作から印刷物としての発注までを行えるようになる				
6期	デザイン制作の技術向上				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	授業ガイダンス、デザインについてのおさらい			
2	4月22日	印刷の種類、解像度、色について			
3	5月13日	入稿原稿の制作方法と紙質について			
4	5月20日	デザインを見る、知る(チラシ・ポスター)			
5	6月17日	デザイン制作1			
6	6月24日	デザイン制作2			
7	7月1日	デザイン制作3			
8	7月8日	デザインを見る、知る(ロゴ・CDジャケット・キャラクター)			
9	8月19日	デザイン制作4			
10	8月26日	デザイン制作5			
11	9月2日	デザイン制作6			
12	9月9日	デザイン制作7			
評価方法	実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	プランニングⅢ		担当講師	横山 聡史	
講師実務経験	YOSAKOIソーラン祭札幌駅南口広場会場ディレクション・朗読舞台「悠久の自然アラスカ」札幌公演ディレクションほか				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント制作専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	定期公演へ向け、幅広い情報収集と発想に基づく企画力と、コミュニケーションを重視したチームワークを習得する。				
6期	定期公演での経験と反省をもとに、ターゲット・目的を仮定したイベント企画を行うことで、企画案と実施案制作スキルの向上を図る。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日	定期公演:情報収集と企画案			
2	4月23日	定期公演:情報収集と企画案			
3	5月14日	定期公演:企画書制作・広報計画			
4	5月21日	定期公演:企画書制作・広報計画・実施案制作			
5	5月28日	定期公演:広報計画・実施案制作			
6	6月4日	定期公演:実施案制作			
7	6月18日	定期公演:反省会／課題の整理・対処法の検討			
8	6月25日	新規イベント企画:情報収集と企画案			
9	7月2日	新規イベント企画:情報収集と企画案			
10	7月9日	新規イベント企画:企画書制作			
11	8月20日	新規イベント企画:企画書制作			
12	8月27日	新規イベント企画:広報計画・実施案制作			
13	9月3日	新規イベント企画:広報計画・実施案制作			
14	9月10日	新規イベント企画:広報計画・実施案制作			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	制作実習Ⅱ		担当講師	片岡 朋子	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント制作専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	6 回	1回あたりの授業時間	270 分
期	修 得 目 標				
5期	ライブ実践により、舞台監督、進行スタッフ、ケータリング業務、アーティストケアを修得する。定期公演準備を実践し制作の流れを修得する。				
6期	ライブ実践を通して各セクションの仕事内容を理解し、制作進行の一連の流れを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日 4月23日	授業ガイダンス / 定期公演 進捗状況確認、打合せ、各セクション準備			
2	5月14日 5月21日	ライブ実践①			
3	5月7日 6月18日	イベント制作、ライブ制作 検証①(新入生歓迎ライブ)			
4	7月2日 7月9日	ライブ実践②			
5	8月20日 8月27日	ライブ実践③			
6	9月3日 9月10日	イベント制作 検証①(定期公演) / 実技修得度確認 / 定期試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技修得度評価時期・方法:最終回に修得度確認作業あり				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	CAD実習Ⅱ		担当講師	佐藤 直子	
講師実務経験	建築士、インテリアコーディネーター				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント制作専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	6 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	図形制作による基本操作を修得する				
6期	様々な題材に対応する操作技術を修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4/16 23	授業ガイダンス(前期の反省含む)			
2	5/7 5/14	図形製作(建具等)によるツール操作等確認			
3	5/21 6/18	データ取り出しと変換について			
4	7/2 7/9	トレース(縮尺)について(課題)			
5	8/20 8/27	平面.展開.立面.Plan.Design.企画書について(課題)			
6	9/3 9/10	過去のデータを利用したPlan制作について(課題) まとめ			
評価方法	実技修得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	18時間中7時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	体カトレーニングⅡ		担当講師	MASA	
講師実務経験	ダンススタジオ勤務・ダンスインストラクター				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント制作専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	6 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	チャレンジ精神の修得				
6期	強い身体と精神の修得				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日	授業ガイダンス・体カトレーニング			
1	4月23日	授業ガイダンス・体カトレーニング			
2	5月14日	体カトレーニング			
2	5月21日	体カトレーニング			
3	6月18日	体カトレーニング			
3	6月25日	体カトレーニング			
4	7月2日	体カトレーニング			
4	7月9日	体カトレーニング			
5	8月20日	実技テスト			
5	8月27日	実技テスト			
6	9月3日	実技テスト・まとめ			
6	9月10日	実技テスト・まとめ			
評価方法	実技修得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	上靴、動きやすい格好				
注意事項	18時間中7時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽概論 I		担当講師	曾山 良一	
講師実務経験	プロギタリスト・作曲家歴37年				
対象学年	2 学年	対象専攻	A組		講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	実演家と制作側の相互関係について学ぶ				
6期	ポピュラー音楽史からみる楽器、機材の本質を知る				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	自己の本番経験からの授業説明			
2	4月24日	実演家が望むステージのモニター環境について			
3	5月8日	実演家＋制作チーム→観客の満足度について			
4	5月15日	ライブキャパシティの大小による実演家とPAのコミュニケーション			
5	5月22日	舞台演出と実演家のコミュニケーション			
6	6月19日	1930年代→現代、ポピュラー音楽史からみる楽器について			
7	6月26日	1930年代→現代、ポピュラー音楽史からみる音響機材について			
8	7月3日	現代の音楽産業に貢献したレスポール氏について			
9	7月10日	和楽器と洋楽器のコラボレーションについて			
10	8月21日	マイケルジャクソン・リハーサル映像からみるコミュニケーション			
11	8月28日	モータウンコンサート映像からみる総合舞台演出			
12	9月4日	まとめ、質疑応答			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職活動講座 I		担当講師	木下 有希	
講師実務経験	マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B組		講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。				
6期	社会人に必要なビジネスマナーを身に付ける。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	面接の形式について			
2	4月21日	入退室のマナー			
3	5月12日	グループディスカッション			
4	5月19日	筆記試験対策(作文)			
5	5月26日 6月23日	筆記試験対策(作文)			
6	6月30日	訪問のマナー			
7	7月7日	名刺交換			
8	7月14日	報告・連絡・相談			
9	8月18日	報告・連絡・相談			
10	8月25日	食事のマナー			
11	9月2日	社交儀礼			
12	9月8日	社交儀礼			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で修得済評価不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	片岡 朋子/一岡 永	
講師実務経験	イベント制作会社勤務/音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B組		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。				
6期	就職活動をサポートする。社会人に必要なマナーを身に付ける。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	スタログ利用方法説明(求人検索方法)			
2	4月24日	企業情報、求人情報の提供①			
3	5月8日	就職活動計画の見直し①			
4	5月15日	面接対策(集団面接、個人面接)			
5	5月22日	志望動機作成(見直し) / 企業情報、求人情報の提供②			
6	5月29日 6月19日	筆記試験対策(一般常識)			
7	6月26日	税金について ※特別講師			
8	7月3日	企業研修中の取り組みについて			
9	7月10日	社会人としての心構え / 企業情報、求人情報の提供②			
10	8月21日	OB講話 ※OB来校			
11	8月28日	応募書類見直し(履歴書、志望動機、自己PR、アルバイト経歴書)			
12	9月4日	就職活動計画の見直し②			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	12時間中5時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	MA実習Ⅲ		担当講師	田莉子 和之	
講師実務経験	音楽・番組制作会社に勤務。テレビ番組等、映像制作の音に携わる。				
対象学年	2 学年	対象専攻	スタジオレコーディング専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	270 分
期	修 得 目 標				
5期	ビデオ制作における音声編集の知識と技術を習得する。				
6期	ビデオ制作における音声編集の知識と技術を習得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス／MAの概要・知識について			
2	4月20日	MA作業準備 / 整音について			
3	5月11日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(1)			
4	5月18日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(2)			
5	5月25日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(3)			
6	6月29日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(4)			
7	7月6日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(5)			
8	7月13日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(6)			
9	8月17日	整音 / ミックスダウンについて			
10	8月24日	授業まとめ / 実技習得度判定試験対策			
11	8月31日	実技習得度判定試験			
12	9月7日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技習得度評価時期・方法:実技習得度判定試験の実施 *【授業計画】参照				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	72時間中25時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	機材メンテナンス I		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	スタジオレコーディング専攻	授業形態	演習
期間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
5期	XLRコネクタを使用したケーブル作成の下処理を修得する。				
6期	XLRコネクタを使用したケーブル作成のはんだ付けを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンス/XLRコネクタのしくみについて			
2	4月21日	ケーブルの被覆剥き①			
3	5月12日	ケーブルの被覆剥き②			
4	5月19日	予備はんだについて			
5	5月26日	実技修得度確認①			
6	6月30日	ケーブルの被覆剥き③			
7	7月7日	はんだ付け練習①			
8	7月14日	はんだ付け練習②			
9	8月18日	はんだ付け練習③			
10	8月25日	実技修得度確認②			
11	9月1日	モノラルフォンコネクタについて			
12	9月8日	定期試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技修得度評価時期・方法:修得度確認作業あり				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	なし				
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	DTM II		担当講師	山口 真	
講師実務経験	ゲームメーカー サウンド開発部勤務経験、音楽/音効販売代理店および制作開発部勤務経験、フリーランス 音楽/音効制作業、翻訳含む文筆業				
対象学年	2 学年	対象専攻	スタジオレコーディング専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
5期	楽曲、演奏データの構造に関するデジタル知識および楽器の奏法等特徴に関する知識を身につける				
6期	場面や用途に応じた音楽形態の変化について発想力を鍛える				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンス、近年の制作体制、現場共有されるノウハウについて			
2	4月21日	MIDIの歴史、楽曲データの構造について			
3	5月12日	楽器の基礎知識:ピアノおよび鍵盤楽器の構造と奏法、特徴について			
4	5月19日	楽器の基礎知識:ベース/ギターの構造と奏法、特徴について			
5	5月26日	楽器の基礎知識:ドラム/パーカッションの構造と奏法、特徴について			
6	6月30日	楽器の基礎知識:シンセサイザー/サンプラーの構造と奏法、特徴について			
7	7月7日	楽器の基礎知識:ボーカル/コーラスの特徴について ※課題提出			
8	7月14日	VST等プラグインの機能、使い方と注意点について			
9	8月18日	編曲(アレンジ、REMIX)のバリエーションと活用について			
10	8月25日	アレンジ、リミックスの実践			
11	9月1日	アレンジ、リミックスの実践 ※課題提出			
12	9月8日	これからの制作技術/制作支援技術(MPE、MAX、AI等)について			
評価方法	定期試験点数(70%)実技修得度(30%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技習得度評価時期・方法:(研修による公欠を除く全授業において)実習授業内で目視確認、2度の課題の品質による判断				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	授業用テキストを配布。				
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります) ヘッドフォン、筆記具持参。				

科目名	SR技術概論Ⅲ			担当講師	金沢 琢司
講師実務経験	レコーディングエンジニア				
対象学年	2 学年	対象専攻	スタジオレコーディング専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	録音技術の習得				
6期	次世代音響技術～音楽理論・その他の習得				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	ペアマイク收音			
2	4月22日	オーケストラのレコーディング			
3	5月13日	ダビング(マルチトラック)			
4	5月20日	ミックダウン			
5	5月27日	ライブレコーディング			
6	6月24日	マスタリング			
7	7月1日	デジタル録音技術			
8	7月8日	サラウンド制作手法			
9	8月19日	マルチチャンネル再生			
10	8月26日	マルチチャンネル再生(スピーカー設置)			
11	9月2日	音楽理論と楽器について			
12	9月9日	音楽制作の歴史とスタッフの役割			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ProTools実習Ⅱ			担当講師	金沢 琢司
講師実務経験	レコーディングエンジニア				
対象学年	2 学年	対象専攻	スタジオレコーディング専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	ProToolsの各種モードの基礎を踏まえ、別の授業で録音した素材の編集を行い、音の素材に対する的確な編集方法を習得する。				
6期	録音素材を基に、オートメーションを使用してのミックス方法を習得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	1年次に学んだ基礎の復習を行い、不明点等については再確認を行い、正しい基礎知識を習得する。			
2	4月22日	それぞれの編集モードとショートカットの復習確認を行い、スムーズに操作できているか確認を行う。不明点等については再確認を行い、正しい基礎技術を習得します。			
3	5月13日	別授業で録音した素材(1～3曲)を使用し、全ての編集機能を使用して、編集作業を行う。1トラック20分以内の目途で実施。			
4	5月20日	別授業で録音した素材(1～3曲)を使用し、全ての編集機能を使用して、編集作業を行う。1トラック15分以内を目標とする。			
5	5月27日	別授業で録音した素材(1～3曲)を使用し、全ての編集機能を使用して、編集作業を行う。1トラック10分以内を目標とする。			
6	6月24日	プレイリストのデータを基にそれぞれのテイクを張り付けてOKテイクの作成方法を学び、習得する。			
7	7月1日	オートメーションの考え方と、できる事、操作方法を理解する。			
8	7月8日	録音素材を基に、各種パラメーター(レベル、ミュートのON/OFF、パンニングなど)のオートメーションの使用方法を理解し、習得する。			
9	8月19日	録音素材を使用して、オートメーションの基本操作を基に、応用的な使用方法を理解する。(ノイズの消し方、ボーカルの書き込み方、音楽的な使用方法など)			
10	8月26日	各種プラグインの種類やメーカー名、具体的なプラグインの名前を理解し、どのような効果を与えられるのか理解する。			
11	9月2日	プラグインのパラメーターを使用し、実際にオートメーションを書き込む。操作方法における、良し悪しを理解し、応用的な使用方法も学ぶ。			
12	9月9日	総合的な操作技術を使用して、音楽を完成させる。			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	REC実習Ⅲ			担当講師	金沢 琢司
講師実務経験	レコーディングエンジニア				
対象学年	2 学年	対象専攻	スタジオレコーディング専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	270 分
期	修 得 目 標				
5期	ライブ録音(映像との同時録音)の概要				
6期	スタジオでの録音の概要～応用				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日	ホールとスタジオのシステムの基本(結線・セッティング)			
2	4月23日	ライブ録音(映像との同時録音)の概要			
3	5月14日	ライブ録音(イベント録音)			
4	5月21日	ライブ録音後のデータ処理(ProToolsでの編集～ミックス)			
5	5月28日	ライブ録音(出張レコーディングのシステム構築・概要)			
6	6月25日	ライブ録音(出張レコーディングのシステム構築・映像との同期)			
7	7月2日	スタジオ録音の基本Ⅰ(学内スタンダードセッティングの概要)			
8	7月9日	スタジオ録音の基本Ⅱ(学内応用セッティングの概要)			
9	8月20日	スタジオ録音の基本Ⅲ(学内応用セッティングの概要)			
10	8月27日	コンソールミックスの概要(アウトボードを使用してのアナログミックス)			
11	9月3日	ProToolsを使つてのミックスの概要(外部機器を繋いでのオペレーション)			
12	9月10日	コンソール・ProTools両方使つてのハイブリットミックスの概要			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	72時間中25時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽概論 I		担当講師	曾山 良一	
講師実務経験	プロギタリスト・作曲家歴37年				
対象学年	2 学年	対象専攻	スタジオレコーディング専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	実演家と制作側の相互関係について学ぶ				
6期	ポピュラー音楽史からみる楽器、機材の本質を知る				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	自己の本番経験からの授業説明			
2	4月24日	実演家が望むステージのモニター環境について			
3	5月8日	実演家＋制作チーム→観客の満足度について			
4	5月15日	ライブキャパシティの大小による実演家とPAのコミュニケーション			
5	5月22日	舞台演出と実演家のコミュニケーション			
6	6月19日	1930年代→現代、ポピュラー音楽史からみる楽器について			
7	6月26日	1930年代→現代、ポピュラー音楽史からみる音響機材について			
8	7月3日	現代の音楽産業に貢献したレスポール氏について			
9	7月10日	和楽器と洋楽器のコラボレーションについて			
10	8月21日	マイケルジャクソン・リハーサル映像からみるコミュニケーション			
11	8月28日	モータウンコンサート映像からみる総合舞台演出			
12	9月4日	まとめ、質疑応答			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	著作権論		担当講師	曾山 良一	
講師実務経験	プロギタリスト・作曲家歴37年・JASRAC・MPN個人会員				
対象学年	2 学年	対象専攻	スタジオレコーディング専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	著作権法を理解し、作品に対しての使用料を支払う				
6期	使用料を受け取る→創作活動のサイクルを学ぶ				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	著作権・著作法の基礎知識			
2	4月24日	著作権・財産権解説			
3	5月8日	著作権の保護期間について			
4	5月15日	著作権が及ばない場合について			
5	5月22日	音楽出版会社について			
6	6月19日	JASRAC・MPN・CISAC・BIEMIについて			
7	6月26日	放送業界に対するブランケット方式とロイヤリティ方式			
8	7月3日	レコード会社について(メジャー・ミニメジャー・インディーズ)			
9	7月10日	原盤権ビジネス			
10	8月21日	REMIXに於ける実演家人格権について			
11	8月28日	音楽配信と著作権について			
12	9月4日	まとめ、質疑応答			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職活動講座 I		担当講師	木下 有希	
講師実務経験	マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B組		講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。				
6期	社会人に必要なビジネスマナーを身に付ける。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	面接の形式について			
2	4月21日	入退室のマナー			
3	5月12日	グループディスカッション			
4	5月19日	筆記試験対策(作文)			
5	5月26日 6月23日	筆記試験対策(作文)			
6	6月30日	訪問のマナー			
7	7月7日	名刺交換			
8	7月14日	報告・連絡・相談			
9	8月18日	報告・連絡・相談			
10	8月25日	食事のマナー			
11	9月2日	社交儀礼			
12	9月8日	社交儀礼			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	片岡 朋子/一岡 永	
講師実務経験	イベント制作会社勤務/音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B組		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。				
6期	就職活動をサポートする。社会人に必要なマナーを身に付ける。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	スタログ利用方法説明(求人検索方法)			
2	4月24日	企業情報、求人情報の提供①			
3	5月8日	就職活動計画の見直し①			
4	5月15日	面接対策(集団面接、個人面接)			
5	5月22日	志望動機作成(見直し) / 企業情報、求人情報の提供②			
6	5月29日 6月19日	筆記試験対策(一般常識)			
7	6月26日	税金について ※特別講師			
8	7月3日	企業研修中の取り組みについて			
9	7月10日	社会人としての心構え / 企業情報、求人情報の提供②			
10	8月21日	OB講話 ※OB来校			
11	8月28日	応募書類見直し(履歴書、志望動機、自己PR、アルバイト経歴書)			
12	9月4日	就職活動計画の見直し②			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	12回中5回の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	音響概論Ⅲ		担当講師	田上 涼	
講師実務経験	ライブハウス勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライブ音響専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	新入生歓迎ライブ、定期公演を通して、PAに必要な準備を習得する				
6期	舞台機構要素試験の対策と、今まで培ってきた音響知識を復習し習得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス 新歓ライブの打ち合わせ①(進捗状況、役割分担、作業スケジュールの確認、転換プラン)			
2	4月20日	新歓ライブの打ち合わせ②(役割分担、転換プランの最終確認、音楽分析をする)			
3	5月8日	定期公演の打ち合わせ①(役割分担、作業スケジュールの決定、インプットプランについて)			
4	5月18日	定期公演の打ち合わせ②(進捗状況、役割分担、作業スケジュールの確認)			
5	6月22日	舞台機構要素試験について①(有名な音楽を聴く。楽器の見た目、音を一致させる。)			
6	6月29日	舞台機構要素試験について②(楽器の見た目、音を一致させる。)			
7	7月6日	舞台機構要素試験について③(楽器の見た目、音を一致させる。MIXバランス、音量変化)			
8	7月13日	舞台機構要素試験について④(MIXバランス、音量変化)			
9	8月17日	様々な知識の復習と確認① (PAプランニングについて)			
10	8月24日	様々な知識の復習と確認② (PAプランニングについて)			
11	8月31日	様々な知識の復習と確認③(はんだごて)			
12	9月7日	前期授業の復習、定期試験対策			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	舞台音響技術概論Ⅱ		担当講師	梶野 泰範 / 千葉 諭	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライブ音響専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	舞台機構調整作業筆記試験の科目毎に理解を深める				
6期	舞台機構調整作業試験を振り返り、現場に活かせる確かな知識としてまとめ上げる				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	「舞台一般」に関する知識を復習し、習得する			
2	4月20日	「音響機構調整法」に関する知識を復習し、習得する			
3	5月11日	「電気」に関する知識を復習し、習得する			
4	5月18日	「関係法規」「安全衛生」に関する知識を復習し、習得する			
5	6月22日	これまでの理解度を確認するための模擬試験を行い、試験対策を行う			
6	6月29日	模擬試験を実践的に行う①			
7	7月6日	模擬試験を実践的に行う②			
8	7月13日	模擬試験を実践的に行う③			
9	8月17日	試験の自己採点、解説			
10	8月24日	現場目線からの国家資格「舞台機構調整技能士」を検証し、現場での応用、実例について理解を深める①			
11	8月31日	現場目線からの国家資格「舞台機構調整技能士」を検証し、現場での応用、実例について理解を深める②			
12	9月7日	定期試験対策			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	機材概論Ⅱ		担当講師	斎藤 康次/千葉 諭	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライブ音響専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	パワーアンプ、スピーカーに関する各スペックについて修得する。				
6期	音響機材に関する知識を幅広く修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンス アンプとスピーカーのスペックについて スピーカーチューニングについて①			
2	4月21日	MIXバランスについて①			
3	5月12日	回線表作成			
4	5月19日	EQを使用したサウンドメイクについて			
5	6月23日	ディレイ、リバーブの実用に向けた各パラメーター			
6	6月30日	MIXバランスについて②			
7	7月7日	回線表作成			
8	7月14日	スピーカーチューニングについて②			
9	8月18日	コンプレッサー、ゲートの実用に向けた各パラメーター			
10	8月25日	回線表作成			
11	9月1日	現場における様々な機材について			
12	9月8日	試験対策			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ローディー実習Ⅱ		担当講師	斎藤 康次/千葉 諭	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライブ音響専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	キーボードの基本セッティング、実践的な楽器の転換作業を修得する。				
6期	4リズムの総合的なセッティングを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンス			
2	4月21日	KEYの組み立て方、基本操作			
3	5月12日	ノイズ、感電対策とテスターの使い方について			
4	5月19日	実践的な楽器周りの転換作業			
5	6月23日	ドラムのチューニング、メンテナンス			
6	6月30日	ギター、ベースの弦交換、メンテナンス			
7	7月7日	4リズムの基本的な演奏			
8	7月14日	実技テストの確認、練習			
9	8月18日	4リズム実技テスト①			
10	8月25日	4リズム実技テスト②			
11	9月1日	4リズム実技テスト③			
12	9月8日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PA実習ⅢA		担当講師	一岡 永/田上 涼	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライブ音響専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	270 分				
5期	修 得 目 標				
	ライブイベントを通して、実践的なオペレート技術、ステージ転換作業を修得する。				
6期	エンジニアとして、現場を成立させることが出来る技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日	授業ガイダンス/デジタルコンソールの概要			
2	4月23日	転換作業について			
3	5月7日	デジタルコンソールについて			
4	5月20日	プランニングとセッティング①			
5	5月21日	LIVE実践①			
6	6月18日	積極的なサウンドメイク			
7	7月1日	プランニングとセッティング②			
8	7月2日	LIVE実践②			
9	8月19日	プランニングとセッティング③			
10	8月20日	LIVE実践③			
11	9月3日	サラウンドスピーカーシステムについて			
12	9月10日	実技修得度確認/筆記試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技修得度評価時期・方法:最終回に修得度確認作業あり				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	なし				
注意事項	72時間中25時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PA実習ⅢB		担当講師	斎藤 康次 / 田上 涼	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライブ音響専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	270 分
期	修 得 目 標				
5期	ライブイベントを通して、実践的なオペレート技術、ステージ転換作業を修得する。				
6期	エンジニアとして、現場を成立させる事が出来る実践力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	授業ガイダンス チューニング			
2	4月22日	MIXバランスについて モニターバランスについて			
3	5月13日	デジタルコンソールについて LIVE実習の段取り			
4	5月14日	LIVE実習			
5	6月17日	EQ,PANを活用してのオペレートについて			
6	6月24日	エフェクターを活用してのオペレートについて			
7	7月8日	バーチャルサウンドによるMIX練習 LIVE実習の段取り			
8	7月9日	LIVE実習			
9	8月26日	トラブルシューティング LIVE実習の段取り			
10	8月27日	LIVE実習			
11	9月2日	様々なシチュエーションでのPAIについて			
12	9月9日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	72時間中25時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽概論 I		担当講師	曾山 良一	
講師実務経験	プロギタリスト・作曲家歴37年				
対象学年	2 学年	対象専攻	A組		講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	実演家と制作側の相互関係について学ぶ				
6期	ポピュラー音楽史からみる楽器、機材の本質を知る				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	自己の本番経験からの授業説明			
2	4月24日	実演家が望むステージのモニター環境について			
3	5月8日	実演家＋制作チーム→観客の満足度について			
4	5月15日	ライブキャパシティの大小による実演家とPAのコミュニケーション			
5	5月22日	舞台演出と実演家のコミュニケーション			
6	6月19日	1930年代→現代、ポピュラー音楽史からみる楽器について			
7	6月26日	1930年代→現代、ポピュラー音楽史からみる音響機材について			
8	7月3日	現代の音楽産業に貢献したレスポール氏について			
9	7月10日	和楽器と洋楽器のコラボレーションについて			
10	8月21日	マイケルジャクソン・リハーサル映像からみるコミュニケーション			
11	8月28日	モータウンコンサート映像からみる総合舞台演出			
12	9月4日	まとめ、質疑応答			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職活動講座 I		担当講師	木下 有希	
講師実務経験	マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B組		講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。				
6期	社会人に必要なビジネスマナーを身に付ける。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	面接の形式について			
2	4月21日	入退室のマナー			
3	5月12日	グループディスカッション			
4	5月19日	筆記試験対策(作文)			
5	5月26日 6月23日	筆記試験対策(作文)			
6	6月30日	訪問のマナー			
7	7月7日	名刺交換			
8	7月14日	報告・連絡・相談			
9	8月18日	報告・連絡・相談			
10	8月25日	食事のマナー			
11	9月2日	社交儀礼			
12	9月8日	社交儀礼			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	片岡 朋子/一岡 永	
講師実務経験	イベント制作会社勤務/音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B組		講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。				
6期	就職活動をサポートする。社会人に必要なマナーを身に付ける。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	スタログ利用方法説明(求人検索方法)			
2	4月24日	企業情報、求人情報の提供①			
3	5月8日	就職活動計画の見直し①			
4	5月15日	面接対策(集団面接、個人面接)			
5	5月22日	志望動機作成(見直し) / 企業情報、求人情報の提供②			
6	5月29日 6月19日	筆記試験対策(一般常識)			
7	6月26日	税金について ※特別講師			
8	7月3日	企業研修中の取り組みについて			
9	7月10日	社会人としての心構え / 企業情報、求人情報の提供②			
10	8月21日	OB講話 ※OB来校			
11	8月28日	応募書類見直し(履歴書、志望動機、自己PR、アルバイト経歴書)			
12	9月4日	就職活動計画の見直し②			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	12時間中5時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	音楽Ⅱ		担当講師	鈴木雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・テレビ照明専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	楽曲を聞き拍子を理解し進行記号を用いて譜割ができる力を習得する。				
6期	譜割した譜面を音楽物の照明オペレートに活用できる力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス			
2	4月20日	譜割の手順について			
3	5月11日	譜割の練習曲 4/4			
4	5月18日	4/4 譜割テスト・課題曲。			
5	6月22日	テスト返却。 4/4 課題曲 解答・解説。			
6	6月29日	譜割の練習曲 3/4			
7	7月6日	3/4 譜割テスト・課題曲。			
8	7月13日	テスト返却。 3/4 課題曲 解答・解説。			
9	8月17日	譜割の練習曲 6/8			
10	8月24日	6/8 譜割テスト・課題曲。			
11	8月31日	テスト返却。 6/8 課題曲 解答・解説。			
12	9月7日	定期試験対策			
13					
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間以上の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	照明プランニング I		担当講師	竹平 耕一	
講師実務経験	放送関連会社勤務、照明デザイナー				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・テレビ照明専攻	授業形態	講義
期間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
5期	舞台・テレビにおける照明プランニングの基礎や音楽のプランニングを修得する。				
6期	テレビドラマのスタジオやロケーションでのプランニングを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス。プランナーの仕事について。			
2	4月20日	音楽のプランニングやオペレートについて。			
3	5月11日	ライブ実習(歓迎ライブ4/30)の成果発表および解説。データ表について。			
4	5月18日	劇場・会館・ホールとの業務の進め方について。			
5	6月22日	ライブ実習(定期公演6/13)の成果発表および解説。			
6	6月29日	テレビスタジオでの音楽番組のプランニングについて。			
7	7月6日	テレビ中継(屋内外)の音楽番組のプランニングについて。			
8	7月13日	スタジオでのドラマのプランニングについて。課題 I (スタジオドラマの1シーン)を課す。			
9	8月17日	課題 I のプランニング発表および解説。			
10	8月24日	ロケーションでのドラマのプランニングについて。課題 II (ロケハンの1シーン)を課す。			
11	8月31日	課題 II のプランニングの発表および解説。			
12	9月7日	5期6期の総括および試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	電気Ⅱ		担当講師	山田 茂雄	
講師実務経験	当専門学校 電気Ⅱ 9年				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・テレビ照明専攻	授業形態	講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
5期	第二種電気工事士取得のテキストをもとに、工事の基礎理論の学習、現場で必要な電気知識を修得する。				
6期	図面を見ての配線及び結線の実務。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	1年後期引き続きテキスト利用 電気に関する基礎理論 電流・電圧・抵抗の関係			
2	4月20日	電気に関する基礎理論 工事士筆記試験過去問題から知識を学ぶ。			
3	5月11日	電気工事の施工方法を工事士筆記試験過去問題から知識を学ぶ。			
4	5月18日	配線理論を工事士筆記試験過去問題から学ぶ。			
5	5月25日	配線理論を工事士筆記試験過去問題から学ぶ。			
6	6月1日	電気工事实務作業を修得する。 ケーブル・電線の基本作業と欠陥(電線被覆剥ぎ取り等)			
7	6月22日	電気工事实務作業を修得する。 ケーブル・電線の基本作業と欠陥(電線被覆剥ぎ取り等)			
8	6月29日	電気工事实務作業を修得する。 電線終端接続の基本作業と欠陥(リングスリーブ、コネクタ接続)			
9	7月6日	電気工事实務作業を修得する。 レセプタクル、コンセントの結線作業と欠陥			
10	8月24日	配線図を見て配線結線工事を完成させる。(2～3人1グループで作業)工事士技能試験同様			
11	8月31日	配線図を見て配線結線工事を完成させる。(2～3人1グループで作業)工事士技能試験同様			
12	9月7日	配線図を見て配線結線工事を完成させる。(2～3人1グループで作業)工事士技能試験同様			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	舞台照明Ⅲ		担当講師	笹出 将太	
講師実務経験	照明音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・テレビ照明専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12/6 回	1回あたりの授業時間	225/270 分
期	修 得 目 標				
5期	実際の現場に必要な知識や技術を修得する。				
6期	自主性を高め、応用力と適時適切な判断力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンス。現場での一連の流れ、現場までの一連の流れについて			
2	4月21日	照明効果について			
3	5月12日	ライブ実習準備、ライブ実習①			
	5月14日				
4	5月19日	ライブ実習準備、ライブ実習②			
	5月21日				
5	6月23日	危機管理について			
6	6月30日	ライブ実習準備、ライブ実習③			
	7月2日				
7	7月7日	ライブ実習準備、ライブ実習④			
	7月9日				
8	7月14日	想像力と直感的ひらめきについて			
9	8月18日	ライブ実習準備、ライブ実習⑤			
	8月20日				
10	8月25日	ライブ実習準備、ライブ実習⑥			
	8月27日				
11	9月1日	対応と判断について			
12	9月8日	照明について			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12回中5回の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	テレビ照明		担当講師	近藤 薫	
講師実務経験	照明会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・テレビ照明専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	270 分
期	修 得 目 標				
5期	様々なテレビ番組の照明パターンと手法を修得する。				
6期	CMなど、商品撮影の照明のイメージを養い、表現できるように基礎を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	授業ガイダンス。「情報番組」の照明について。			
2	4月22日	「料理番組」の照明について。			
3	5月13日	「料理番組」の照明について。			
4	5月20日	「ポシェット」 革製品の質感を表現し、ポシェットの厚み・立体感を強調する照明について。			
5	6月17日	「ポシェット」 革製品の質感を表現し、ポシェットの厚み・立体感を強調する照明について。			
6	6月24日	「ウエストポーチ」 柔らかい革製品の質感を表現し、厚み・立体感を強調する照明について。			
7	7月1日	「ウエストポーチ」 柔らかい革製品の質感を表現し、厚み・立体感を強調する照明について。			
8	7月8日	「財布」 革の質感を表現し、厚みの無いものの立体感を出す照明について。			
9	8月6日	「財布」 革の質感を表現し、厚みの無いものの立体感を出す照明について。			
10	8月26日	「革靴」 革靴の素材・立体感を強調する照明について。			
11	9月2日	「革靴」 革靴の素材・立体感を強調する照明について。			
12	9月9日	「レフ」 CMなど、ロケ時のレフの使い方について。			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	72時間中25時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PA基礎実習Ⅱ		担当講師	田上 涼	
講師実務経験	ライブハウス勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・テレビ照明専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	6 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	PAの基本作業の習得				
6期	スタンドスピーカーシステムのセットアップと楽器のセッティングを習得				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日	授業ガイダンス			
2	4月23日	ケーブル巻きと、マイクスタンドの取り扱いの復習			
3	5月7日	卓の使い方を理解する			
4	6月18日	楽器を知る①(Dr、Gt)			
5	9月3日	楽器を知る②(Ba、AG、Key) スピーカーシステムをセットアップし、楽器を演奏してみる			
6	9月10日	授業の復習、試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	18時間中7時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	CAD実習Ⅱ		担当講師	佐藤 直子	
講師実務経験	建築士、インテリアコーディネーター				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・テレビ照明専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	6 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	図形制作による基本操作を修得する				
6期	様々な題材に対応する操作技術を修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日	授業ガイダンス(前期の反省含む)			
2	4月23日	図形製作(建具等)によるツール操作等確認			
3	5月7日	データ取り出しと変換について			
4	6月18日	トレース(縮尺)について(課題)			
5	9月3日	平面.展開.立面.Plan.Design.企画書について(課題)			
6	9月10日	過去のデータを利用したPlan制作について(課題) まとめ			
評価方法	実技修得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	18時間中7時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽概論 I		担当講師	曾山 良一	
講師実務経験	プロギタリスト・作曲家歴37年				
対象学年	2 学年	対象専攻	A組		授業形態 講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間 45 分	
期	修 得 目 標				
5期	実演家と制作側の相互関係について学ぶ				
6期	ポピュラー音楽史からみる楽器、機材の本質を知る				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	自己の本番経験からの授業説明			
2	4月24日	実演家が望むステージのモニター環境について			
3	5月8日	実演家＋制作チーム→観客の満足度について			
4	5月15日	ライブキャパシティの大小による実演家とPAのコミュニケーション			
5	5月22日	舞台演出と実演家のコミュニケーション			
6	6月19日	1930年代→現代、ポピュラー音楽史からみる楽器について			
7	6月26日	1930年代→現代、ポピュラー音楽史からみる音響機材について			
8	7月3日	現代の音楽産業に貢献したレスポール氏について			
9	7月10日	和楽器と洋楽器のコラボレーションについて			
10	8月21日	マイケルジャクソン・リハーサル映像からみるコミュニケーション			
11	8月28日	モータウンコンサート映像からみる総合舞台演出			
12	9月4日	まとめ、質疑応答			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職活動講座 I		担当講師	木下 有希	
講師実務経験	マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B組		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。				
6期	社会人に必要なビジネスマナーを身に付ける。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	面接の形式について			
2	4月21日	入退室のマナー			
3	5月12日	グループディスカッション			
4	5月19日	筆記試験対策(作文)			
5	5月26日 6月23日	筆記試験対策(作文)			
6	6月30日	訪問のマナー			
7	7月7日	名刺交換			
8	7月14日	報告・連絡・相談			
9	8月18日	報告・連絡・相談			
10	8月25日	食事のマナー			
11	9月2日	社交儀礼			
12	9月8日	社交儀礼			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で修得済評価不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	片岡 朋子/一岡 永	
講師実務経験	イベント制作会社勤務/音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B組		講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。				
6期	就職活動をサポートする。社会人に必要なマナーを身に付ける。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	スタログ利用方法説明(求人検索方法)			
2	4月24日	企業情報、求人情報の提供①			
3	5月8日	就職活動計画の見直し①			
4	5月15日	面接対策(集団面接、個人面接)			
5	5月22日	志望動機作成(見直し) / 企業情報、求人情報の提供②			
6	5月29日 6月19日	筆記試験対策(一般常識)			
7	6月26日	税金について ※特別講師			
8	7月3日	企業研修中の取り組みについて			
9	7月10日	社会人としての心構え / 企業情報、求人情報の提供②			
10	8月21日	OB講話 ※OB来校			
11	8月28日	応募書類見直し(履歴書、志望動機、自己PR、アルバイト経歴書)			
12	9月4日	就職活動計画の見直し②			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	12時間中5時間の欠席で修得済評価不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ビデオグラファー実践		担当講師	松田 健太郎			
講師実務経験	フリーランスフォトグラファー・ビデオグラファー						
対象学年	2	学年	対象専攻	Web動画・PV制作専攻		授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12	回	1回あたりの授業時間	45	分
期	修 得 目 標						
5期	ビデオグラファーとしての基本的な動作を修得する。						
6期	プロの機材を使用し撮影、編集をする技術の修得する。						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月13日	カメラの使い方。写真と映像の違いについて。					
2	4月20日	撮影の基本(フィックス、ハンディについて)					
3	5月11日	高度なカメラワーク(ジンバル)					
4	5月18日	高度なカメラワーク(クレーン、スライダーワーク)					
5	5月25日	シネマカメラのオペレーションとカラーグレーディング					
6	6月29日	MV撮影のカメラワーク演習					
7	7月6日	MV撮影のカメラワーク演習					
8	7月13日	MV編集の基本(DaVinciの基本オペレーション)					
9	8月17日	MV制作(学生アーティストのMVを企画)					
10	8月24日	MV制作(プランに沿って撮影を行う)					
11	8月31日	MV編集1(オフライン)					
12	9月7日	MV編集2(オンラインとグレーディング作業)					
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	モーショングラフィック		担当講師	水上 志乃	
講師実務経験	映像制作会社に勤務後、フリーランスとして撮影・編集業務に携わる				
対象学年	2 学年	対象専攻	Web動画・PV制作専攻		授業形態 実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
5期	前期で学んだAEの操作を復習し、定着させる。基礎的な技術を使って、短い作品を作ることができる				
6期	さらに高度な使い方を学び、テーマに沿った短い作品を作ることができる				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンス、作品研究、前期の総まとめ1			
2	4月21日	前期の総まとめ2			
3	5月12日	作品制作1-1			
4	5月19日	作品制作1-2			
5	5月26日	3D機能とカメラの関係			
6	6月30日	カメラの操作について ライト機能			
7	7月7日	ヌルオブジェクト、親子レイヤー、エクスプレッションについて			
8	7月14日	エクスプレッションについて2			
9	8月18日	作品制作2-1			
10	8月25日	作品制作2-2			
11	9月1日	作品制作2-3			
12	9月8日	課題の発表と考察、試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	スチール実習II		担当講師	高橋 吉之	
講師実務経験	カメラ修理会社、写真撮影および編集会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	テレビ番組制作、Web動画・PV制作 各専攻	授業形態	実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
5期	撮影者の意思、意図を自身で表現できるようにする カメラの種類と構造を理解し、メンテナンス方法を学ぶ				
6期	さまざまな表現手段、撮影方法を学ぶ 他者からの依頼、要求を表現できるようにする				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンスおよびカメラ操作方法の復習			
2	4月21日	おこりうる機材トラブルと対処方法、カメラ、レンズなどの機材のメンテナンス実技実習			
3	5月12日	画像データの種類、使い分けについて、画像データ取り扱い上のトラブルと対処法			
4	5月19日	露出のマニュアル操作習得、露出決定の方法			
5	6月23日	光源、光線の種類と見つけ方生かし方、天候や場所、時刻による光の違い			
6	6月30日	総合撮影実習、屋外撮影			
7	7月7日	スタジオ撮影①物撮り、電球、LEDによる定常光撮影			
8	7月14日	ストロボ光特有の特徴および注意事項と撮影方法			
9	8月18日	スタジオ撮影②人物撮影、大型ストロボによるライティング			
10	8月25日	模擬受発注による作品制作①制作計画立案			
11	9月1日	模擬受発注による作品制作②撮影実践			
12	9月8日	作品講評および復習、試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技習得度評価時期・方法:随時提出物および期末提出作品による				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	プリント都度配布				
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	無人航空機概論		担当講師	成田・伊藤	
講師実務経験	ドローンスクール講師				
対象学年	2 学年	対象専攻	Web動画・PV制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	ドローンの操縦に必要な知識(歴史、法律やルール、各種申請方法)や基礎技術(機構や基本操作)を習得する。				
6期	ドローンの操縦に必要な基本操作、応用操作を習得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	授業ガイダンス			
2	4月22日	機体、送信機の操作・機能、バッテリーの運用等			
3	5月13日	ドローンの操作技術を学ぶ② ホバリング、移動			
4	5月20日	ドローンの操作技術を学ぶ③ ホバリング、移動			
5	5月27日	ドローンの操作技術を学ぶ④ 目視外			
6	6月24日	ドローンの操作技術を学ぶ⑤ 応用			
7	7月1日	法律・ルール			
8	7月8日	安全運航管理・気象			
9	8月19日	ドローンの操作技術を学ぶ⑥ 応用			
10	8月26日	操縦技能証明証取得対策			
11	9月2日	操縦技能証明証取得対策			
12	9月9日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	グラフィックデザイン		担当講師	金田一 樹生	
講師実務経験	広告制作会社に勤務後独立				
対象学年	2 学年	対象専攻	Web動画・PV制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	既存の広告を参考にグラフィックデザインを作成する				
6期	自ら制作物の企画、構成を考え制作を行えるようにする				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	ポスター制作①			
2	4月22日	ポスター制作②			
3	5月13日	ポスター制作③			
4	5月20日	CDジャケット制作①			
5	5月27日	CDジャケット制作②			
6	6月24日	CDジャケット制作③			
7	7月1日	発想の展開方法、アイデアとはなにか			
8	7月8日	ロジカルシンキング、制作する上での考え方			
9	8月19日	例題に沿ったグラフィックの制作			
10	8月26日	制作			
11	9月2日	制作			
12	9月9日	プレゼンテーション			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作品制作		担当講師	高橋 学	
講師実務経験	映画の予告編やCMなどを製作するclapfilm LLP代表。その他に、PVや企業VP、コンサート映像など幅広く手がける。映画、CMなどの撮影をサポートするゆうばりフィルムコミッション代表。ゆうばり映画祭、実行委員。障がい者のタレント事務所、ケセラランパセラン代表。				
対象学年	2 学年	対象専攻	Web動画・PV制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	270 分
期	修 得 目 標				
5期	主に、プリプロダクションの部分を実技として学び、いろいろな知識、技術を習得する。				
6期	主に、プロダクション、ポストプロダクションの部分を実技として学び、いろいろな知識、技術を習得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日	授業ガイダンス			
2	4月23日	企画だし、アイデアだしを行う。また、そのトレーニング。			
3	5月14日	プロットの作成。また、そのトレーニング。シナハンについて。			
4	5月21日	脚本の作成。また、そのトレーニング。			
5	5月28日	脚本のブラッシュアップ。シナハンを行う。			
6	6月25日	脚本のブラッシュアップ。ロケハンを行う。			
7	7月2日	脚本読み。ロケハンを行う、。			
8	7月9日	撮影①。撮影技術の向上を目指す。			
9	8月20日	撮影②。荒編を開始する。試写を行う。			
10	8月27日	編集①。編集技術の向上を目指す。			
11	9月3日	編集②。追加撮影、再撮影を行う。曲入れ、編集を完成させる。			
12	9月10日	完成試写。			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	72時間中25時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ストリーミング I		担当講師	岡 宏樹	
講師実務経験	映像制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	Web動画PV制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	ストリーミングの基本的な知識やライブ配信に使用する機材の役割、使用方法を習得する				
6期	機材のセッティングからライブ配信を行うまでの一連の流れを習得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	授業ガイダンス			
2	4月24日	ストリーミング、インターネットについて			
3	5月15日	ライブ配信の機材について①(カメラ、ビデオミキサー、ビデオキャプチャー等)			
4	5月22日	ライブ配信の機材について②(マイク、コンバーター、ケーブル等)			
5	5月29日	配信機材のセッティングについて			
6	6月26日	Wirecastについて			
7	7月3日	ライブ配信実践①			
8	7月10日	ライブ配信実践②			
9	8月21日	ライブ配信実践③			
10	8月28日	ライブ配信実践④			
11	9月4日	ライブ配信のトラブルと対応方法について			
12	9月11日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職活動講座 I		担当講師	木下 有希	
講師実務経験	マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B組		講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。				
6期	社会人に必要なビジネスマナーを身に付ける。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	面接の形式について			
2	4月21日	入退室のマナー			
3	5月12日	グループディスカッション			
4	5月19日	筆記試験対策(作文)			
5	5月26日 6月23日	筆記試験対策(作文)			
6	6月30日	訪問のマナー			
7	7月7日	名刺交換			
8	7月14日	報告・連絡・相談			
9	8月18日	報告・連絡・相談			
10	8月25日	食事のマナー			
11	9月2日	社交儀礼			
12	9月8日	社交儀礼			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	片岡 朋子/一岡 永	
講師実務経験	イベント制作会社勤務/音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B組		講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。				
6期	就職活動をサポートする。社会人に必要なマナーを身に付ける。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	スタログ利用方法説明(求人検索方法)			
2	4月24日	企業情報、求人情報の提供①			
3	5月8日	就職活動計画の見直し①			
4	5月15日	面接対策(集団面接、個人面接)			
5	5月22日	志望動機作成(見直し) / 企業情報、求人情報の提供②			
6	5月29日 6月19日	筆記試験対策(一般常識)			
7	6月26日	税金について ※特別講師			
8	7月3日	企業研修中の取り組みについて			
9	7月10日	社会人としての心構え / 企業情報、求人情報の提供②			
10	8月21日	OB講話 ※OB来校			
11	8月28日	応募書類見直し(履歴書、志望動機、自己PR、アルバイト経歴書)			
12	9月4日	就職活動計画の見直し②			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	12時間中5時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	ドキュメント制作		担当講師	齋藤 忠貞	
講師実務経験					
対象学年	2 学年	対象専攻	テレビ番組制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	テレビ番組制作の中で調査や取材リーチの長さ、問題点の深堀り度が求められるのがドキュメンタリーです。知識、知恵など基本事項を駆使し、テーマ設定から構成、演出、編集に至るまで完成度の高い作品に仕上げます。				
6期					
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	ドキュメンタリーとは ①番組編成の意味 ②3大要素 ③テーマ設定とスタッフ決定			
2	4月20日	ロケーションハンティング(盲導犬協会予定)取材先との打ち合わせ事項確認			
3	5月11日	企画書、構成表、取材スケジュール表作成(企画、演出担当) ①作品鑑賞と批評「スタルヒンの栄光と挫折」			
4	5月18日	構成表作成 ②作品鑑賞と批評「水素燃料」			
5	6月22日	取材(現地)			
6	6月29日	取材(現地)			
7	7月6日	ラッシュチェック(構成見直し)			
8	7月13日	編集 ナレーション取り			
9	8月17日	編集 作品鑑賞「天才サックス女子高生」			
10	8月24日	編集 プレビュー			
11	8月31日	予備日			
12	9月7日	試験			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	マルチ収録		担当講師	田端 優一	
講師実務経験	放送局関連会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	テレビ番組制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	135 分				
修 得 目 標					
5期	音楽ライブビデオの制作を通し、スイッチング、カメラワーク等の基本テクニックを修得する。				
6期	テレビスタジオのカメラ、音声、照明機材等の基本操作を再確認してレベルアップする。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス			
2	4月20日	音楽ライブ収録～チーム分け及びスタッフ決め			
3	5月11日	制作チーム～カメラ割り作業、技術チーム～システム案作成			
4	5月18日	制作・技術打合せ①			
5	5月25日	制作・技術打合せ②			
6	6月29日	収録素材プレビュー～反省会			
7	7月6日	復習トレーニング① スタジオカメラ、ペDESTALの取り扱い方			
8	7月13日	復習トレーニング② スイッチャー卓と周辺機材の取り扱い方			
9	8月17日	復習トレーニング③ 音声機材の取り扱い方			
10	8月24日	復習トレーニング④ 照明機材の取り扱い方			
11	8月31日	マルチ収録 総まとめ講座			
12	9月7日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	資料配布				
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	MA実習Ⅱ		担当講師	田苺子 和之	
講師実務経験	音楽・番組制作会社に勤務。テレビ番組等、映像制作の音に携わる。				
対象学年	2 学年	対象専攻	テレビ番組制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	90 分				
修 得 目 標					
5期	MA作業の理解と、付随する特殊用語の習熟、及び、音声・映像に関する知識を習得する。				
6期	音声編集、同期関係、作業の向上を目標とし、MA作業の知識と技能を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンス／MAの概要・知識について			
2	4月21日	MA作業準備 / 整音について			
3	5月12日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(1)			
4	5月19日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(2)			
5	5月26日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(3)			
6	6月30日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(4)			
7	7月7日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(5)			
8	7月14日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(6)			
9	8月18日	整音 / ミックスダウン について			
10	8月25日	授業まとめ / 実技習得度判定試験対策			
11	9月1日	実技習得度判定試験			
12	9月8日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技習得度評価時期・方法:実技習得度判定試験の実施 *【授業計画】参照				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	スチール実習II		担当講師	高橋 吉之	
講師実務経験	カメラ修理会社、写真撮影および編集会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	テレビ番組制作、Web動画・PV制作 専攻	授業形態	実習
期間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
5期	撮影者の意思、意図を自身で表現できるようにする カメラの種類と構造を理解し、メンテナンス方法を学ぶ				
6期	さまざまな表現手段、撮影方法を学ぶ 他者からの依頼、要求を表現できるようにする				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンスおよびカメラ操作方法の復習			
2	4月21日	おこりうる機材トラブルと対処方法、カメラ、レンズなどの機材のメンテナンス実技実習			
3	5月12日	画像データの種類、使い分けについて、画像データ取り扱い上のトラブルと対処法			
4	5月19日	露出のマニュアル操作習得、露出決定の方法			
5	6月23日	光源、光線の種類と見つけ方生かし方、天候や場所、時刻による光の違い			
6	6月30日	総合撮影実習、屋外撮影			
7	7月7日	スタジオ撮影①物撮り、電球、LEDによる定常光撮影			
8	7月14日	ストロボ光特有の特徴および注意事項と撮影方法			
9	8月18日	スタジオ撮影②人物撮影、大型ストロボによるライティング			
10	8月25日	模擬受発注による作品制作①制作計画立案			
11	9月1日	模擬受発注による作品制作②撮影実践			
12	9月8日	作品講評および復習、試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技習得度評価時期・方法:随時提出物および期末提出作品による				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	プリント都度配布				
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ENG実習Ⅱ		担当講師	三浦 貴正	
講師実務経験	放送局勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	テレビ番組制作専攻		授業形態 実習
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
5期	ロケや室内でのカメラワーク等の撮影技術を学び、将来のキャリアに役立つ実践的な技術を習得する。				
6期	作品制作を通じ、映像表現における理解を深め、クリエイティブな視点や考え方を学ぶ。並びにチームワークの重要性を理解する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	授業ガイダンス			
2	4月22日	撮影実習（屋内外）① 撮影・プレビュー			
3	5月13日	撮影実習（屋内外）② 撮影・プレビュー			
4	5月20日	撮影実習（屋内外）③ 撮影・プレビュー			
5	5月27日	撮影実習（屋内外）④ 撮影・プレビュー			
6	6月24日	撮影実習（屋内外）⑤ 撮影・プレビュー			
7	7月1日	短編作品制作 ① テーマを決め、企画立案・撮影			
8	7月8日	短編作品制作 ② テーマを決め、企画立案・撮影			
9	8月19日	短編作品制作 ③ テーマを決め、企画立案・撮影			
10	8月26日	短編作品制作 ④ テーマを決め、企画立案・撮影			
11	9月2日	評価対象実技試験実施			
12	9月9日	定期試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)、実技習得度(70%)平常点±10点(出席率、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	必要に応じてその都度、参考資料を配布する。				
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	無人航空機概論		担当講師	成田・伊藤	
講師実務経験	ドローンスクール講師				
対象学年	2 学年	対象専攻	テレビ番組制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	ドローンの操縦に必要な知識(歴史、法律やルール、各種申請方法)や基礎技術(機構や基本操作)を習得する。				
6期	ドローンの操縦に必要な基本操作、応用操作を習得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	授業ガイダンス			
2	4月22日	機体、送信機の操作・機能、バッテリーの運用等			
3	5月13日	ドローンの操作技術を学ぶ② ホバリング、移動			
4	5月20日	ドローンの操作技術を学ぶ③ ホバリング、移動			
5	5月27日	ドローンの操作技術を学ぶ④ 目視外			
6	6月24日	ドローンの操作技術を学ぶ⑤ 応用			
7	7月1日	法律・ルール			
8	7月8日	安全運航管理・気象			
9	8月19日	ドローンの操作技術を学ぶ⑥ 応用			
10	9月26日	ドローンの操作技術を学ぶ⑦ 応用			
11	9月2日	ドローンの操作技術を学ぶ⑧ 応用			
12	9月9日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	企画・制作Ⅲ		担当講師	河西 隆之	
講師実務経験	テレビ番組制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	テレビ番組制作、Web動画・PV制作 各専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	4 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	番組の構成・台本の作り方を実践的に習得する①				
6期	番組の構成・台本の作り方を実践的に習得する②				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日	ガイダンス / 班分け後、作品①の企画立案			
2	5月14日	班ごとに分かれ、作品①の構成・台本を完成			
3	6月25日	前回から役割を変更して、作品②の構成・台本を作る			
4	8月20日	班を組み直し、作品③の企画立案、構成・台本を作る			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	編集実習Ⅲ		担当講師	岡 宏樹	
講師実務経験	映像制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	テレビ番組制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	4 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	映像作品を完成させるまでの一連の流れを習得する				
6期	映像表現の実践的なテクニックを習得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月23日	Premiereの使い方について			
2	5月28日	作品制作Ⅰ 編集(素材取り込み～編集～完成)			
3	7月9日	作品制作Ⅱ 編集(素材取り込み～編集～完成)			
4	9月10日	作品制作Ⅲ 編集(素材取り込み～編集～完成)			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	撮影実習Ⅲ		担当講師	田端 優一	
講師実務経験	放送局関連会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	テレビ番組制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	4 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	ロケーション、スタジオに必要な撮影技術全般を修得する。				
6期	実践的に制作しながら番組制作技術全般を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月21日	ロケーション撮影及びスタジオ収録①（企画・制作Ⅲに沿った撮影機材の選定）			
2	7月2日	ロケーション撮影及びスタジオ収録②			
3	8月27日	ロケーション撮影及びスタジオ収録③			
4	9月3日	ロケーション撮影及びスタジオ収録④			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	資料配布				
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	Illustrator/Photoshop	担当講師	金田一 樹生
講師実務経験	広告制作会社に勤務後独立		
対象学年	2 学年	対象専攻	テレビ番組制作専攻
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回
			1回あたりの授業時間
期	修 得 目 標		
5期	既存の広告を参考にグラフィックデザインを作成する		
6期	IllustratorとPhotoshopの得意分野を理解してそれぞれで作成した素材を組み合わせる		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	4月17日	発想の展開方法、アイデアとはなにか	
2	4月24日	ロジカルシンキング、制作する上での考え方	
3	5月8日	写真を加工したグラフィック制作①	
4	5月15日	写真を加工したグラフィック制作②	
5	5月22日	写真を加工したグラフィック制作③	
6	5月29日	キャラクターを使ったグラフィック制作①	
7	6月26日	キャラクターを使ったグラフィック制作②	
8	7月3日	キャラクターを使ったグラフィック制作③	
9	7月10日	タイトルロゴの制作①	
10	8月21日	タイトルロゴの制作②	
11	8月28日	アイキャッチの制作①	
12	9月4日	アイキャッチの制作②	
評価方法	実技習得度(100%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)		
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)		
テキスト			
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	就職活動講座 I		担当講師	木下 有希	
講師実務経験	マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B組		講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。				
6期	社会人に必要なビジネスマナーを身に付ける。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	面接の形式について			
2	4月21日	入退室のマナー			
3	5月12日	グループディスカッション			
4	5月19日	筆記試験対策(作文)			
5	5月26日 6月23日	筆記試験対策(作文)			
6	6月30日	訪問のマナー			
7	7月7日	名刺交換			
8	7月14日	報告・連絡・相談			
9	8月18日	報告・連絡・相談			
10	8月25日	食事のマナー			
11	9月2日	社交儀礼			
12	9月8日	社交儀礼			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	片岡 朋子/一岡 永	
講師実務経験	イベント制作会社勤務/音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B組		授業形態 講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間 45 分	
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。				
6期	就職活動をサポートする。社会人に必要なマナーを身に付ける。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	スタログ利用方法説明(求人検索方法)			
2	4月24日	企業情報、求人情報の提供①			
3	5月8日	就職活動計画の見直し①			
4	5月15日	面接対策(集団面接、個人面接)			
5	5月22日	志望動機作成(見直し) / 企業情報、求人情報の提供②			
6	5月29日 6月19日	筆記試験対策(一般常識)			
7	6月26日	税金について ※特別講師			
8	7月3日	企業研修中の取り組みについて			
9	7月10日	社会人としての心構え / 企業情報、求人情報の提供②			
10	8月21日	OB講話 ※OB来校			
11	8月28日	応募書類見直し(履歴書、志望動機、自己PR、アルバイト経歴書)			
12	9月4日	就職活動計画の見直し②			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	12時間中5時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	アナウンス概論Ⅱ		担当講師	長谷川 宏和	
講師実務経験	元 北海道テレビ放送アナウンサー				
対象学年	2 学年	対象専攻	ラジオ番組制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	伝えたい事を、言葉で伝える実力(トークスキル)をつける。(基本形)				
6期	幅広い喋りを理解し、さまざまな場面に対応できるトークスキルをつける				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	ベルト番組ラジオパーソナリティ募集オーディションを想定した面接①			
2	4月20日	ベルト番組ラジオパーソナリティ募集オーディションを想定した面接②			
3	5月11日	2班に分かれ、私をゲストとしたグループDJトーク			
4	5月18日	ビール園におけるイベントを想定した、ビンゴゲーム大会のMC			
5	5月25日	ラジオショッピング(焼肉セット)の原稿読み			
6	6月29日	ニュース(yosakoiソーラン祭り、原生花園)の原稿読み			
7	7月6日	福島県の昔話(ゆうれい石、半田沼の王)の朗読原稿読み			
8	7月13日	衆議院選挙をテーマに、私と一人ずつDJトーク			
9	8月17日	私と全員で、夏休み・お盆休み・お墓参りをテーマにグループDJトーク			
10	8月24日	実際に使用された「歌謡ステージ」の台本を使用して、一人ずつセリフ練習			
11	8月31日	短編朗読「ミミコの独立」と「外郎売り」の口上			
12	9月7日	短編朗読「もぐ子とお兄ちゃん・おたんじょうび」と「外郎売り」の口上			
評価方法	定期試験点数(100%)±10点(授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ラジオコミュニケーションⅡ		担当講師	増田 佳織	
講師実務経験	フリーアナウンサー/MC				
対象学年	2 学年	対象専攻	ラジオ番組制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	業界で働くための心構えやコミュニケーション力を身につける				
6期	企画考案から台本制作、選曲、トーク、インタビュー等の流れ理解し修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	セルフプロデュース・コミュニケーション力を高める			
2	4月20日	台本制作、原稿作成について			
3	5月11日	表現力を高める			
4	5月18日	ラジオ番組の試聴			
5	5月25日	インタビュー実践			
6	6月29日	選曲・曲紹介			
7	7月6日	フリートーク、ディベート			
8	7月13日	番組制作にむけて			
9	8月17日	番組制作実践①			
10	8月24日	番組制作実践②			
11	8月31日	番組制作実践③			
12	9月7日	番組制作まとめ			
評価方法	定期試験点数(100%)±10点(授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	番組実践Ⅱ		担当講師	森 基誉則	
講師実務経験	MC/DJ/ライター				
対象学年	2 学年	対象専攻	ラジオ番組制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	1年次に身につけた喋りのスキルを、マイクに乗せる術を学ぶ。時間帯、曜日等、ターゲットに応じた番組づくりを知る。ラジオの本質に気づく。				
6期					
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	自己紹介を鍛える			
2	4月20日	伝え方を知る			
3	5月11日	言語表現			
4	5月18日	マイクに乗る声を作る			
5	5月25日	会話の主導権を握る			
6	6月29日	選曲			
7	7月6日	番組構成			
8	7月13日	インタビュー			
9	8月17日	対応方法			
10	8月24日	プレゼン			
11	8月31日	企画の制作			
12	9月7日	まとめ			
評価方法	定期試験点数(100%)±10点(授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	台本制作		担当講師	小林 雅和	
講師実務経験	広告代理店勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ラジオ番組制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	基本的な台本づくりを修得する				
6期	応用的な台本づくりを修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンス			
2	4月21日	収集データを整理し、キューシートを作成する			
3	5月12日	作成したキューシートを基に台本制作を開始する			
4	5月19日	番組構成を意識した台本づくり			
5	6月23日	読み言葉を話し言葉に変換するテクニック①			
6	6月30日	読み言葉を話し言葉に変換するテクニック②			
7	7月7日	見やすく読みやすい台本づくりを考える①			
8	7月14日	見やすく読みやすい台本づくりを考える②			
9	8月18日	添付資料の有効性・活用性を考える①			
10	8月25日	添付資料の有効性・活用性を考える②			
11	9月1日	これまで学んできたことの確認・復習			
12	9月8日	試験対策			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技習得度評価時期・方法:随時提出物および期末提出作品による				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	プリント都度配布				
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	機材メンテナンス		担当講師	小林 雅和	
講師実務経験	広告代理店勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ラジオ番組制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	24 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	基本的な機材の保守・メンテナンス方法を修得する				
6期	応用的な機材の保守・メンテナンス方法を修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンス			
2	4月17日	はんだごてに慣れる①			
3	4月21日	はんだごてに慣れる②			
4	4月24日	ケーブル・コネクタのメンテナンス①			
5	5月8日	ケーブル・コネクタのメンテナンス②			
6	5月12日	ケーブル・コネクタのメンテナンス③			
7	5月15日	ケーブル・コネクタのメンテナンス④			
8	5月19日	ケーブル・コネクタのメンテナンス⑤			
9	5月22日	ケーブル・コネクタのメンテナンス⑥			
10	5月26日	ケーブル・コネクタのメンテナンス⑦			
11	5月29日	ヘッドホンのメンテナンス①			
12	6月26日	ヘッドホンのメンテナンス②			
13	6月30日	ヘッドホンのメンテナンス③			
14	7月3日	ヘッドホンのメンテナンス④			
15	7月7日	コンソールの簡易メンテナンス①			
16	7月10日	コンソールの簡易メンテナンス②			
17	7月14日	コンソールの簡易メンテナンス③			
18	8月18日	マイクの簡易メンテナンス①			
19	8月21日	マイクの簡易メンテナンス②			
20	8月25日	PCの保守・メンテナンス①			
21	8月28日	PCの保守・メンテナンス②			
22	9月1日	PCの保守・メンテナンス③			
23	9月4日	これまで学んできたことの確認・復習			
24	9月8日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技習得度評価時期・方法:随時提出物および期末提出作品による				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	プリント都度配布				
注意事項	48時間中17時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	番組検聴Ⅱ		担当講師	八幡 淳	
講師実務経験	フリーパーソナリティー				
対象学年	2 学年	対象専攻	ラジオ番組制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	同じ内容でも切り口が違っただけで存在価値も変わってくることへの理解を深める				
6期					
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	番組の存在価値を理解する			
2	4月20日	他人の心や気持ちを理解する			
3	5月11日	紋切り型ではない質問			
4	5月18日	対称人物に興味を持つ			
5	5月25日	政治や時事ネタではなく、今朝のこと昨日自分に起きたことをやってみる			
6	6月29日	「欲」を刺激するには？			
7	7月6日	見えないものを伝えるには本質を理解すること			
8	7月13日	自分の背後に聞きたい人がいることw			
9	8月17日	ネタをぜいたくに使う			
10	8月24日	自分たちの目線を忘れない			
11	8月31日	番組内容に沿った選曲・しゃべり			
12	9月7日	まとめ			
評価方法	定期試験点数(100%)±10点(授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ラジオ番組制作Ⅱ		担当講師	小林 雅和	
講師実務経験	広告代理店勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ラジオ番組制作専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	24 回	1回あたりの授業時間	270 分
期	修 得 目 標				
5期	毎月第一金曜日24:00—24:30に放送している本校提供番組「経専学園K∞Dream」の制作を行う。コーナー企画考案、台本制作、音源選定、収録リハーサル、だめ出し、本番収録、編集までの一連の作業を理解し、リスナーにとって有益な内容となるよう心がける				
6期					
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	授業ガイダンス			
2	4月16日	これまでの復習。情報源の有益性を改めて考える			
3	4月22日	キューシート、台本の重要性を改めて考える			
4	4月23日	音(BGM、曲、効果音等)の効用に拘ってみる			
5	5月7日	ディレクターを役割・仕事を改めて考える			
6	5月13日	パーソナリティの立ち位置は、目線は			
7	5月14日	技術・アシスタントとのコミュニケーション向上を図る			
8	5月20日	「リスナーを意識して」の番組づくりができているかどうか考える			
9	5月21日	取り扱うものはベーシックに、それに自分達の色を加えてみる			
10	5月27日	ネット情報に終始せず、自分達のフィルターを通してみる			
11	5月28日	情報を自分の足で集めてみる(ネットは使わない)			
12	6月24日	季節感をどう出すか、具体的なテクニックとは			
13	7月1日	番組構成の「流れ」を意識した収録を心がける			
14	7月2日	固定観念にとらわれず、連想するワードから思考を広げてみる			
15	7月8日	なぜ、誰のために、何の目的で放送するのかを明確にしてみる			
16	7月9日	「言葉づかい」を気にするのではなく、リスナーに向けた「気遣い」を考えてみる			
17	8月19日	「聴いたリスナーが行動したくなる」を目標に掲げ、取り組んでみる			
18	8月20日	どんなネタでも内輪ネタにしないようにするにはどうしたらよいか考えてみる			
19	8月26日	「リスナーに不適切な放送にしない」ためのアプローチテクニック			
20	8月27日	パーソナリティとしての「目線」を考え収録に臨む			
21	9月2日	ディレクターは第一のリスナーであれ。喋り手の「修正テクニック」とは			
22	9月3日	楽しい番組づくりは「スタッフが楽しんでいること」を改めて知る			
23	9月9日	「言葉で喋る」のではなく「心で喋る」具体的テクニックを振り返る			
24	9月10日	試験対策及び総評			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	120時間中41時間以上の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				